

3 2012 年度予算の主な事業

(1) 新5ヵ年計画における主な取り組み

将来を担う人が育つまちをつくる

待機児童解消対策事業 10億4,085万円 (18ページ)

民間保育所や認定こども園の整備の支援、山崎保育園の移転新築等により、2013年4月に272人の定員増を図ります。

小中一貫教育推進事業 2,724万円 (19ページ)

「小中一貫町田っ子カリキュラム」と「小中一貫指導推進校」により小中一貫教育を推進します。

教育相談充実事業 1,366万円 (20ページ)

教育センターでの教育相談窓口の開設日を、2012年8月から土曜日にも拡充します。

鶴川第一小学校改築事業 3,510万円 (21ページ)

校舎の老朽化、狭あいな教室等の問題を解消するため、鶴川第一小学校の建替えを進めます。

小中学校トイレ改修事業 3億6,266万円 (22ページ)

小中学校のトイレを改修し、使いやすく明るいトイレ空間に整備します。

子どもセンター整備事業 1億5,200万円 (23ページ)

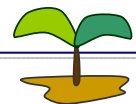
(仮称) 忠生子どもセンターの建設を進めます。また、町田地区の子どもセンターの基本計画を策定します。

ひきこもりの若者への相談・支援の充実 367万円 (24ページ)

ひきこもりなどの若者の自立等を支援するため、相談・支援体制の充実を図ります。

鶴川駅前図書館整備事業 1億875万円 (25ページ)

「鶴川緑の交流館」内に鶴川駅前図書館を整備します。
(2012年10月中旬開館予定)



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

安心して生活できるまちをつくる

食育推進事業	366 万円	(26 ページ)
市民や関係機関と連携しながら、ライフステージを通じた食育推進活動を展開します。		
健康危機管理計画策定事業	447 万円	(27 ページ)
様々な健康危機に迅速かつ適切に対応するため、健康危機管理体制の構築を進めます。		
地域高齢者支援事業	5,437 万円	(28 ページ)
地域における高齢者の見守り支援ネットワークの拡大や相談窓口の増設を図ります。		
自立生活移行促進事業	1,080 万円	(29 ページ)
無料低額宿泊施設を利用する生活保護受給者の、自立に向けた就労や生活を支援します。		
地域活動の窓口設置	452 万円	(30 ページ)
地域の情報収集・発信や交流の場となる地域活動の窓口の設置に向け、地域の拠点づくりを進めます。		
新庁舎建設事業	12 億 1,249 万円	(31 ページ)
2012 年 7 月に新庁舎での業務を開始し、これまで以上の市民サービスの向上を目指します。		
忠生市民センター建替事業	5,574 万円	(32 ページ)
図書館や乳幼児健診の設備を備えた地域の拠点として建替えを進めます。		
地域センター建替事業	2,096 万円	(33 ページ)
成瀬センター、玉川学園文化センターの建替えを進めます。		
耐震改修促進事業	7,226 万円	(34 ページ)
「緊急輸送道路」沿道の建築物の耐震化を促進します。		
住宅耐震促進事業	4,993 万円	(35 ページ)
木造住宅や分譲マンションの耐震診断等を支援し、住宅の耐震化を促進します。		
雨水管整備事業	16 億 6,520 万円	(36 ページ)
浸水被害を軽減するため、雨水管を整備します。		
防災情報設備整備事業	1 億 3,021 万円	(37 ページ)
防災センターを新庁舎に開設します。また、防災行政無線のデジタル化を進めます。		
協働パトロール隊推進事業	30 万円	(38 ページ)
地域の枠に捉われない協働パトロール隊によるパトロールを実施します。		



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

賑わいのあるまちをつくる

中心市街地整備事業	500 万円	(39 ページ)
市民・事業者と協働しながら、まちの魅力を高めるための整備を進めます。		
中心市街地活性化推進事業	617 万円	(40 ページ)
地元事業者や行政等の連携の強化により、中心市街地の活性化を促進します。		
原町田一丁目地区まちづくり事業	2,919 万円	(41 ページ)
市営駐車場と周辺土地を含めた一体的なまちづくりを推進します。		
市民ふれあい農園開設事業	350 万円	(42 ページ)
農に親しめる農園の開設に向け、候補地の選定や運営方法等を検討します。		
創業支援・企業誘致推進事業	1,358 万円	(43 ページ)
中町第三庁舎跡地に創業支援・企業誘致施設の整備に向けた計画を策定します。		
鶴川緑の交流館整備事業	18 億 7,464 万円	(44 ページ)
多機能ホールや図書館、駅前連絡所を設置した「鶴川緑の交流館」を整備します。 (2012 年 9 月に一部開館予定)		
博物館再整備計画策定事業	45 万円	(45 ページ)
博物館の再整備に向け、新たな博物館の具体的な機能、規模、あり方等を検討します。		
国際版画美術館展示事業	6,074 万円	(46 ページ)
開館 25 周年を記念し、春と秋に企画と内容を充実した大型展を開催します。		
小野路公園整備事業	1 億 9,500 万円	(47 ページ)
2012 年硬式高校野球西東京大会、2013 年国体軟式野球競技に向け、整備を進めます。		
町田市立陸上競技場整備事業	33 億 1,900 万円	(48 ページ)
F C町田ゼルビアの J2 リーグ試合、2013 年国体サッカー競技に向け、整備を進めます。		
まちだカーニバル事業	1,000 万円	(49 ページ)
2012 年 10 月にパフォーマンスイベントを開催し、町田市の魅力を広く発信します。		
第 68 回 国民体育大会開催準備事業	8,431 万円	(50 ページ)
2013 年 9 月の国体開催に向け、リハーサル大会やイベントを開催します。		
芸術文化イベント推進事業	270 万円	(51 ページ)
大学等との連携により情報誌を作成し、町田市の芸術文化の認知度を高めます。		
観光交流センター整備事業	8,710 万円	(52 ページ)
小野路宿通りに旧民家を活かした観光交流センターの建設を進めます。		
シティセールス事業	1,974 万円	(53 ページ)
シティセールス活動により、町田市の知名度アップや観光客の誘客拡大を図ります。		

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。



暮らしやすいまちをつくる

都市計画道路整備事業	19 億 7,175 万円	(54 ページ)
都市計画道路や南町田駅・相原駅の駅前広場を整備します。		
都市計画道路線形検討事業	1,300 万円	(56 ページ)
多摩都市モノレール導入路線など、優先的に整備する路線の検討を進めます。		
地域コミュニティバス運行事業	9,622 万円	(57 ページ)
玉川学園地区南ルートの実行開始に向けて、道路・バス停等を整備します。		
北部丘陵整備事業	1 億 3,820 万円	(58 ページ)
北部丘陵を訪れる方等の利便性を高めるため、駐車場やトイレを整備します。		
公園整備事業	7 億 904 万円	(60 ページ)
薬師池西公園、薬師池北緑地など、薬師池公園周辺をはじめとする公園や緑地の整備を進めます。		
自然エネルギー活用事業	5,141 万円	(61 ページ)
太陽熱利用機器を新たに助成対象に加え、自然エネルギーの利用を促進します。		
循環型施設整備事業	4,612 万円	(62 ページ)
循環型社会の形成に向け、ごみ処理施設等の整備の検討を進めます。		
鶴見川クリーンセンター水処理施設増設事業	3 億 7,000 万円	(63 ページ)
汚水の高度処理を導入した水処理施設を、2015 年 4 月の稼働を目指して増設します。		

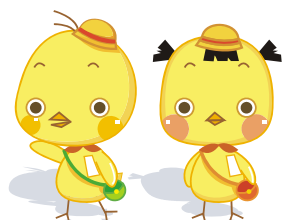


(2) その他の取り組み

乳幼児健診会場の拡充	504 万円	(64 ページ)
小山市民センターでの乳幼児健診を拡充します。また、健康福祉会館の駐車場を拡充します。		
介護保険料の改定（介護保険事業会計）	—	(65 ページ)
所得段階の見直しにより低所得者への配慮もした、新たな介護保険料を設定します。		
民設障がい者福祉施設整備補助事業	2,023 万円	(66 ページ)
生活介護施設「町田かたつむりの家（とも）」、グループホーム及びケアホームの整備を支援します。		

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

件名		待機児童解消対策事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,040,846			0	493,307	202,200	0
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部・局別予算概要 333～335・337 ページ				
<p>待機児童対策として、2009年度から2011年度の間、1,086人（2012年4月開所分を含む）の保育サービス定員増（※1）を図りましたが、共働き世帯の増加等の要因により待機児童数が横ばいであることを受け、2011年に新たに策定した「町田市保育サービス3ヵ年計画」においては、2012年度から2014年度までの3年間で851人の保育サービス定員増を図ることを目標としています。</p> <p>この計画を推進するため、2012年度は下記の事業を実施し、2013年4月に272人の定員増を図ります。</p>						
【事業の内容】						
<p>① 民間保育所整備支援事業 543,423千円 2013年4月定員226人増 <small>（主な歳入 子育て支援対策事業費臨時特例補助260,242千円）</small></p> <p>町田市独自の「20年間期間限定認可保育所」事業において、100人規模の新築型1園、60人規模の改修型1園を新設するための整備費の補助を行います。</p> <p>また、建設から30年以上経過し、老朽化が進んでいる認可保育所について、保育環境の向上と待機児童解消を目的とした施設の建替えを進め、定員増を図ります。2ヵ年計画で実施し、2011年度から実施している2園で66人の定員増を図り、2012年度から新たに2園に対し整備費の補助を行います。</p>						
<p>② 認定こども園事業 184,949千円 2013年4月定員24人増 <small>（主な歳入 子育て支援対策事業費臨時特例補助65,273千円、認定こども園運営費補助41,704千円）</small></p> <p>既存の「幼稚園型・認定こども園」の運営費補助に加え、新たに「幼保連携型・認定こども園」の設置を促進し、就学前の教育・保育のニーズに対応する選択肢を拡大します。2012年度は24人規模の「幼保連携型・認定こども園」1園を新設するための整備費の補助を行います。</p>						
<p>③ 公立保育園整備事業 215,296千円 2013年4月定員12人増</p> <p>老朽化対策及び待機児童解消のため山崎保育園を移転新築し、2014年4月から22人の定員増を図ります。新園舎では、新たに0歳児保育や一時保育を実施し、延長保育時間の延長も行います。</p> <p>また、森野三丁目保育園の3歳児以上の受入れに向けた施設整備を行い、2013年4月には12人の定員増を図ります。その他、公立保育園の民営化に向けた改修設計や敷地測量等を行います。</p>						
<p>④ 家庭的保育事業 97,178千円 2013年4月定員10人増 <small>（歳入 家庭的保育事業費補助48,588千円）</small></p> <p>市が認定した家庭的保育者（保育ママ）に対して運営費の補助を行います。2012年度は新たに家庭的保育者2人を募集し、10人の定員増を図ります。</p>						
<p>（※1）保育サービス定員とは、市内の認可保育所・認証保育所・家庭的保育事業・認定こども園（保育所部分）・保育室の定員総計です。</p>						
問い合わせ先	子ども生活部 子育て支援課長 小池			電話	724-2138	



件名		小中一貫教育推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
27,238			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要		518 ページ
<p>町田市の小中一貫教育は、市立全小・中学校を本市独自の重点カリキュラムでつなげる全市型の「小中一貫町田っ子カリキュラム」と、地域ごとに課題を明確化し、共有しながら、その解決に向けて小・中学校が連携して指導を図る地域型の「小中一貫指導推進校」の2つの取組を軸としています。</p> <p>重点カリキュラムでは、規範教育、キャリア教育、英語教育、食育の4領域の「小中一貫町田っ子カリキュラム」を実施し、それらの内容を教科等の学習に基づく「確かな学力」に加えることで、社会のニーズに応える学校教育を推進し、「社会から求められる人間」を育てていくことを目指しています。</p>						
【事業の内容】						
<p>小中一貫教育における児童・生徒が使用する道徳副読本、家庭向け啓発資料、英語教材の購入費並びに小中一貫教育地域型モデル校12校での研究事業に必要な経費を計上しています。事業を推進していくために「小中一貫町田っ子カリキュラム」充実委員会を設け、以下のような活動をしています。</p> <p>●重点カリキュラム及び選択カリキュラムの指導内容の見直しと実践に向けた検討を行う。</p> <p>① 重点カリキュラムの見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師用指導資料にある指導案をもとに授業実践・公開 ・道徳副読本にある町田市の資料を活用した授業実践・公開 <p>② 選択カリキュラムの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の取組をもとに選択カリキュラムの資料を作成 <p>また、小中一貫教育地域型モデル校は、以下のような活動を行っています。</p> <p>① モデル校の役割</p> <p>小中一貫教育の試行的な実践に取組み、その成果を今後の小中一貫教育推進のための基礎資料とする。</p> <p>② モデル指定期間</p> <p>2012年4月から2013年3月</p> <p>③ 学校数(12校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫学力向上推進校 小学校1校もしくは2校と中学校1校が組になり研究(近隣地域) ・小中一貫生活指導推進校 小学校1校もしくは2校と中学校1校が組になり研究(近隣地域) <p>④ モデル指定校としての責務(2013年3月までに)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中の教員や児童・生徒との交流促進、一貫した指導計画(9年間)などの作成 ・研究報告会の開催 						
【主な事業費】						
道徳副読本購入		20,086 千円				
家庭向け啓発資料		600 千円				
小学校教員英語指導研修委託		2,900 千円				
問い合わせ先	学校教育部 指導課長 小池			電話	724-2154	

件名		教育相談充実事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
13,661			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 519 ページ		
<p>教育センターでは、市内の幼児から18歳までのお子さんの様々な問題について、専門の相談員が教育相談に応じています。相談件数は年々増加しており、2010年度は1,099件で前年度より81件の増加、相談延べ回数は8,030回で928件の増加でした。相談内容も多様化しており、発達関係の相談も急増しています。また相談の増加に伴い、予約の電話をいただいてから相談に入るまで約1か月お待ちいただくことも続いています。そこで、土曜日の相談窓口の開設と相談員を増やすことにより、平日に相談に来られない方への対応と待ち期間の短縮を行います。</p>						
【事業の内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日窓口の開設 平日に相談に来られない方のために8月から土曜日(午前9時から午後5時)に教育相談窓口を開設します。 ・待ち期間の短縮 相談希望者が予約から速やかに相談が開始出来るように、専門の相談員を17名から3名増員して20名とします。 ・多様化する相談への対応 急増する発達関係の相談に対応するために専門医との連携、学校での相談に対応するために教育相談員の派遣、教育相談へ繋げるための家庭訪問相談など、順次事業を展開していきます。 						
【主な事業費】						
教育相談員報酬・社会保険料 10,921 千円						
問い合わせ先	学校教育部 指導課 教育センター担当課長 谷			電話	793-2481	

件名	鶴川第一小学校改築事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
35,100		0	0	0	0	35,100

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 522 ページ

本事業は鶴川第一小学校における主に以下の3つの課題を解消するために行うものです。2012年度は基本・実施設計業務委託(12-13 債務負担行為事業)の1年度目を行います。

- ①老朽化・・・建築後45年経過し、大規模改造からも24年経過しているため、施設の老朽化が進んでいます。
- ②学習環境・・・六角校舎内普通教室は一教室あたりの面積が狭く、また、増築を重ねた結果全体のゾーニングが崩れ、特別教室が分散し、普通教室も各棟に点在しており、指導上支障が生じています。
- ③クラス数増加・・・現在21学級ですが、2016年度には、推計で27学級に増えます。増築を行うとさらに使にくい学校となり、学習環境上も問題があります。

以上の主な要因を勘案して、鶴川第一小学校については、学校運営上、建替えを行います。

【事業の内容】

2011年度	2012-2013年度	2014-2015年度
基本計画	基本・実施設計	工事

<予定規模> 延床面積 約9,000㎡(体育館、給食室等込み)、RC造4F
普通教室30、特別教室12、管理諸室、給食室、ランチルーム等

※ 現在の鶴川第一小学校の保有面積 5,366㎡

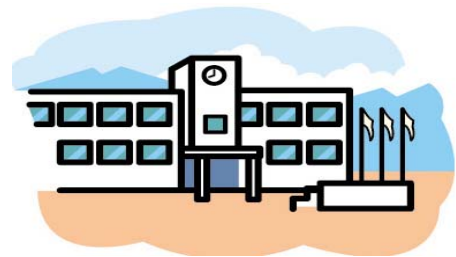
※ 参考 直近の新設小学校 小山中央小学校の保有面積 9,337㎡

○ 環境やライフサイクルコストを考慮した計画

・従来、市で行ってきた太陽光発電設置、中水利用のほか、より高効率なエコ改修を検討し、エネルギーの省力化を図ります。


【主な事業費】

基本・実施設計業務委託(2012-2013年度債務負担行為事業)・・・ 2012年度 35,100千円
(総額 117,000千円)



問い合わせ先	学校教育部 施設課長 佐藤	電話	724-2948
--------	---------------	----	----------

件名		小中学校トイレ改修事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
362,660			97,586	0	182,800	35,000
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 522・530 ページ		
<p>トイレ改修は、学校で非常に改善要望の多い事項であり、和式便器から洋式便器への取替え、臭気の改善、汚れ等明るく清潔で使いやすいトイレ環境が求められています。改修を行うことにより、児童・生徒の学校生活に密接にかかわりのあるトイレが明るく、安心できる空間となるとともに、配管等が改修されるため臭気が解消され、教育環境の向上を図ることが出来ます。</p>						
【事業の内容】						
<p>和式便器から洋式便器への取り替え、ブースの床、壁、天井や照明器具の全面改修を行うことで、使いやすく、明るいトイレ空間環境に整備します。</p> <p>改修にあたっては、省エネに配慮した、節水便器、感知式照明、泡沫水洗等に設備を変更し、エネルギー使用量の削減を図ります。</p>						
○本事業でトイレ改修済及び予定校 37校(2017年度完了予定)						
[2011年度トイレ改修済校 5校]						
・2011年度に小学校4校、中学校1校を改修						
[2012年度以降のトイレ改修予定校 32校]						
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
小学校 (全23校)	3校	5校	5校	4校	5校	1校
中学校 (全9校)	1校	1校	1校	1校	1校	4校
○新築校及び他事業対応校 25校						
[他事業(大規模改造等)で改修済みの校数 12校]……小学校 8校、中学校 4校						
[新築校のため改修不要の校数 5校]…… 小学校 3校、中学校 2校(小山中含む)						
[他事業(防音工事等)で改修予定の校数 8校]……小学校 4校、中学校 4校						
【主な事業費】						
設計業務委託費	5校	21,100千円				
工事監理業務委託	13,600千円					
改修工事費	327,960千円					
【主な特定財源】						
学校施設環境改善交付金	97,586千円					
問い合わせ先	学校教育部 施設課長 佐藤			電話	724-2948	

件名		子どもセンター整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
152,004			0	31,310	97,600	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要		345 ページ
<p>「都市化、核家族化、女性の就労の増加」、「遊び場の不足や交通事故の増加」など、児童を取り巻く環境が大きく変化しています。そのため、地域において児童を健全に育成する上で憂慮すべき事態が進行し、青少年健全育成の拠点となる施設の整備が求められています。</p> <p>町田市では、「子どもの遊びの拠点」、「成長・発達の拠点」、「地域の子育ての拠点」として子どもセンターを市内5地区に整備することを目標としており、2012年度は、市内で4館目となる忠生地区の子どもセンターの建設工事を行います。また、5館目となる町田地区の子どもセンターの基本計画を策定するほか、子どもセンターから遠い地域のアクセス問題を解消するため、今後の子どもセンターや子どもクラブの配置構想策定に向けた調査を開始します。</p>						
<p>【事業の内容】</p> <p>◆(仮称)忠生子どもセンター建設工事 《2014年1月開館予定》</p> <p>◇建設場所 忠生1-11-1(忠生地区交番隣)</p> <p>◇事業規模 地上2階地下1階</p> <p>敷地面積 1,698㎡</p> <p>延べ面積 1,551㎡(駐車場492㎡含む)</p>						
						
				<p>(仮称)忠生子どもセンター建設準備委員会の子ども支援部会による看板づくり</p>		
<p>のびのび遊べる大きなプレイルーム、授乳室が併設され安心して遊べる乳幼児スペース、読み聞かせコーナーもある図書スペース、バンド練習ができるスタジオや、プレイルームで鏡を前にダンスの練習ができるなど、0歳から中高生まで楽しく遊べる施設です。</p> <p>プレイルームはホール機能も兼ねており、ライブやダンスイベントなど日々の練習の成果が発表でき、自己実現の場としての機能も兼ね備えています。</p> <p>イベントやプログラムは、計画段階からご協力いただいている地域の住民のみなさまや子どもたちと協働しながら企画・実施していきます。</p> <p>◆町田地区子どもセンター基本計画策定</p> <p>◆子どもセンター・子どもクラブ配置構想策定のための調査</p>						
<p>【主な事業費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)忠生子どもセンター建設工事費 144,396千円 <li style="padding-left: 20px;"><工事期間2012～2013年度 総額360,990千円> ・町田地区子どもセンター基本計画策定委託料 3,000千円 ・子どもセンター・子どもクラブ配置構想調査委託料 4,000千円 						
<p>【特定財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館等整備費補助(都) 17,310千円 ・市町村総合交付金(都) 14,000千円 ・児童福祉施設整備事業債 97,600千円 						
問い合わせ先	子ども生活部 児童青少年課長 平林			電話	724-2182	

件名		ひきこもりの若者への相談・支援の充実				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
3,670			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 279 ページ		
<p>近年、全国的にひきこもり(※1)、ニート(※2)などさまざまな課題や困難を抱える若者が社会問題化しており、東京都調査(「実態調査からみる若者のこころ 平成 19 年度若年者自立支援調査研究報告書」)の出現率(15～34 歳の若年者の 0.72%)によると、町田市では約 700 人が「ひきこもり」と推計されます。</p> <p>市では、これまで保健師の個別支援活動による「ひきこもり」の相談やグループワークなどを行っていますが、こうした若者の把握や支援に関する関係者の連携が必ずしも十分ではない状況にあります。</p> <p>ひきこもり、ニートなど様々な課題や困難を抱える若者の回復と、社会への参加、多様な形態の自立を推進し、家族や関係者が、ひきこもり等の背景を理解し、緩やかな回復を支援するとともに、地域において家族自体が孤立しない仕組みが求められています。</p> <p>※1 ひきこもり 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6 か月以上続けて自宅にひきこもっている状態をいいます。</p> <p>※2 ニート Not in Education, Employment or Training(教育、労働、職業訓練に参加していない状態)の頭文字から取った言葉です。ここでは、15～34 歳のうち、就業、就職活動、家事、通学をしていない人をいいます。</p>						
【事業の内容】						
<p>2012 年度は、ひきこもりに関しての市民意識・実態把握を行うため、アンケート調査を行います。</p> <p>また、相談・支援体制の充実を図るため、関係機関の相談体制等の現状を把握するとともに、連携協力体制を構築していきます。</p>						
【主な事業費】						
ひきこもり者支援にかかる調査委託料 3,670 千円						
問い合わせ先	いきいき健康部 保健対策課長 向山			電話	722-7636	

件名		鶴川駅前図書館整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
108,750			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要		553 ページ
<p>1972年に設置された現鶴川図書館は、面積259㎡と市内で最小規模の図書館です。しかし年間の貸出冊数、予約件数ともに、市内6館のうちで中央図書館、金森図書館に次ぐ3番目の実績があり、特に近年は広袴、真光寺地域の宅地開発等の影響で、利用が増加する傾向にあります。そのため、鶴川地域への新たな図書館建設が課題となっていました。</p> <p>そうした状況を背景として、2007年11月にまとめられた「鶴川駅前公共施設基本構想」で駅前の公共施設内に図書館を設置する方針が示され、それを受けて2009年2月にまとめられた「基本計画」で、図書館が併設されることが決まりました。</p> <p>鶴川地域の図書館サービスを飛躍的に向上させ、地域住民の交流拠点、鶴川の魅力を広く内外に発信する情報拠点としての役割を担います。コミュニティ機能を含む「鶴川緑の交流館」内の図書館という特性を活かし、他の機能と連携しての資料情報提供や複合イベントの実施などで市民活動を支援し、その活性化に寄与します。</p>						
【事業の内容】						
<p>町田市では、2000年に移転開館した金森図書館から12年ぶりの新館建設であり、市内7館目の図書館となります。2010年度に8,000冊、2011年度には32,000冊の図書資料を購入し、装備を進めています。</p> <p>2012年度にはさらに17,000冊分の図書購入費を計上、開館までに14,000冊を購入して54,000冊規模でオープンいたします。その後、順次資料を整備し、最終的には蔵書数90,000冊の図書館となります。</p>						
<施設の概要>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 名称：町田市立鶴川駅前図書館 ・ 開館予定：2012年10月中旬 ・ 図書館床面積：1,190㎡(地上4階、地下2階 5,979.36㎡のうちの2階部分) ・ 所在地：町田市能ヶ谷一丁目2番1号 ・ 蔵書冊数：約90,000冊 ・ 想定年間貸出冊数：530,000冊 ・ 運営方式：市直営 						
【主な事業費】						
<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常勤職員報酬 28,542千円 ○ 総合管理委託料 9,514千円 ○ 初度調弁(備品等の整備) 21,800千円 ○ 図書購入費 25,050千円 						
⇒関連事業「鶴川緑の交流館整備事業」(44ページ)						
問い合わせ先	生涯学習部 図書館長 尾留川			電話	728-8220	

件名		食育推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
3,658			0	500	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 277 ページ		
<p>○ 死因の 6 割以上を占める生活習慣病の大きな要因のひとつが食生活であり、生活習慣病の予防のためには、乳幼児期から食への関心を高め、感謝の気持ちや望ましい食生活習慣を身につけさせるとともに、生涯を通じて自己管理能力を養う「食育」を推進することが必要です。</p> <p>○ 「国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむ」(食育基本法第 1 条)ことを目的として、2005 年 6 月に食育基本法が制定され、国は 2006 年 3 月に食育推進基本計画、2011 年 3 月に第 2 次食育推進基本計画を策定し、関係機関・団体等多様な主体とともに食育を推進しています。</p> <p>○ 市では、食育基本法及び食育推進基本計画に基づく市町村の食育推進計画として、総合的かつ包括的な「町田市食育推進計画」を策定し、健全な食生活を実践できる市民を支援します。</p>						
【事業の内容】						
<p>町田市の地域特性や食をめぐる現状と課題を踏まえて、2013 年度に、「町田市食育推進計画」を策定し、この計画に基づき、庁内関係部署、さらに関係機関・団体が連携・協力して、市民と一体となりながら、ライフステージを通じた食育推進活動を展開していきます。</p> <p>1. 町田市食育推進計画策定に向け、市民及び食育関係者を対象として、食育に関する調査を行います。</p> <p>2. 町田市食育推進計画の内容や推進について検討するため、関係機関・団体等を含めた食育推進協議会を立ち上げます。</p> <p>3. 庁内の連携強化に向け、食育関係部署をメンバーとした庁内食育推進ネットワーク会議を立ち上げます。</p>						
【主な事業費】						
<p>○ 食育推進協議会委員謝礼 196 千円</p> <p>○ 食育推進計画策定支援委託料 3,397 千円</p> <p>(2012～2013 年度債務負担行為 総事業費 6,971 千円)</p>						
【主な特定財源】						
○ 区市町村食育推進活動支援事業費補助金(都) 500 千円						
問い合わせ先	いきいき健康部 保健企画課長 西澤			電話	722-7637	

件名		健康危機管理計画策定事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
4,468			0	2,978	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 277 ページ		
<p>○ 重篤な感染症や集団食中毒の発生、劇物毒物の混入や化学剤、生物剤による集団健康被害など、市民や地域に被害が及ぶ可能性のある様々な健康危機を未然に防止するとともに、発生した場合には、関係団体、近隣自治体等と連携して、被害を最小限に食い止める必要があります。</p> <p>○ 市は2011年度から保健所政令市へ移行し、東京都の保健所業務を引き継ぐ中で、日常的な食中毒や感染症予防業務を実施しています。今後、放射線による健康被害などの新たな課題に対応できるよう、保健衛生部門や市域をこえた総合的な健康危機管理体制の構築が急務となっています。</p>						
【事業の内容】						
<p>様々な健康危機に迅速かつ適切に対応するため、基本的な対策について健康危機管理計画を策定し、関係機関、近隣自治体等との連携を強化します。</p> <p>1. 2013年度の健康危機管理計画策定に向け、庁内、関係機関等との検討・調整を進めます。</p> <p>2. 健康危機管理協議会を設置し、東京都、近隣自治体、関係機関、及び庁内関係部署との連携を強化します。</p>						
【主な事業費】						
<p>○ 健康危機管理協議会委員謝礼 386 千円</p> <p>○ 健康危機管理基本計画策定支援委託料 4,017 千円</p> <p>(2012～2013年度債務負担行為事業 総事業費 8,267 千円)</p>						
【主な特定財源】						
○ 医療保健政策区市町村包括補助(都) 2,978 千円						
問い合わせ先	いきいき健康部 保健企画課長 西澤			電話	722-7637	

件名		地域高齢者支援事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
54,367		3,000	28,282	0	0	23,085

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 262 ページ

高齢者人口の増加に伴い、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が占める割合が急増しています。また、認知症高齢者も増加しており、地域での高齢者の見守りや認知症高齢者及び介護をしている家族への支援が必要となっています。そこで、高齢者が地域で孤立化しないよう、地域における見守り支援ネットワークの構築や相談窓口の設置、認知症高齢者や介護をしている家族への支援の仕組みづくりを進めます。

【事業の内容】

① 高齢者見守り支援ネットワーク事業

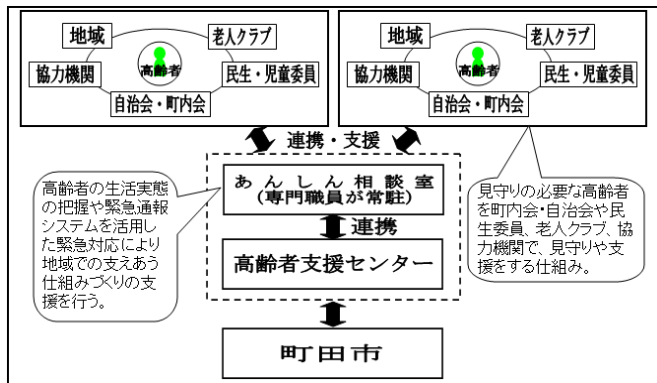
65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯を対象に見守りの希望を調査し、町内会・自治会や地域の関係機関が中心になり、見守り活動や孤立化防止に向けた活動をするネットワークづくりと、その拡大を図ります。

② あんしん相談室設置事業

社会福祉士などの専門職を配置した相談窓口を設置し、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の高齢者の生活実態の把握や、緊急通報システムを活用した見守り支援を行います。

高齢者やその家族からの様々な相談に応じ、地域のネットワークの支援を行う相談室を、木曽地区・本町田地区に加え、新たに南地区・鶴川地区の2箇所に設置します。

あんしん相談室・見守りネットワークのイメージ



③ 認知症高齢者(もの忘れ相談)相談事業

現在、市内4箇所の高齢者支援センターにおいて、認知症に関する相談窓口を設置し、高齢者やその家族からの相談に医師や臨床心理士が対応しています。今後、さらに相談しやすいよう相談箇所を2倍の8箇所に拡充していきます。

④ 認知症施策総合推進事業

12箇所の高齢者支援センターで1名ずつ、認知症支援推進員を育成し、在宅生活をしている認知症高齢者や家族介護者に生じる独特の問題等の相談にあたります。

【主な事業費】


① 高齢者見守り支援ネットワーク推進事業	6,780 千円
② あんしん相談室設置事業	33,063 千円
③ 認知症高齢者(もの忘れ相談)相談事業	6,324 千円
④ 認知症施策総合推進事業	7,761 千円

【主な特定財源】

市町村認知症施策総合推進事業(国)	3,000 千円
シルバー交番設置事業費(都)	16,531 千円
高齢社会対策包括補助事業(都)	11,404 千円

問い合わせ先	いきいき健康部 高齢者福祉課 地域支援担当課長 西原	電話	724-4048
--------	-------------------------------	----	----------

件名		自立生活移行促進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,800			10,800	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 232 ページ		
<p>○路上生活者を含め生活が困窮された方が自立のために一時的に利用する無料低額宿泊施設には、身分証なし、保証人なし、無年金、借金などの自立を阻害する様々な問題を抱えた方達が入所しています。</p> <p>○無料低額宿泊施設の利用は本来一時的なものですが、前出の自立を阻害する要因から思うように就職が見つからず、必然的に日雇の就労等のみとなり、就職に対するモチベーションを維持できず、生活困窮からの脱却がより困難になっています。</p> <p>○施設入所者に対し生活支援、就労支援を行うことで自立を阻害する要因を解決し、生活困窮から脱した地域生活での自立に向けた支援を行うため、施設入所者を対象にした新たな事業です。</p>						
【事業の内容】						
<p>○国の補助制度を活用し、無料低額宿泊施設を利用する生活保護受給者が自立した生活ができるよう、無料低額宿泊施設を運営する事業者と委託契約を締結します。</p> <p>○無料低額宿泊施設を利用されている方に対し、「自立生活を送る」かつ「生活保護に戻らない」、「生活保護基準を上回る収入を得る」等の目標を設定し、「住民票の異動や債務整理」等の課題を整理するため、個々にアセスメントシートや支援計画を作成します。</p> <p>○支援計画の達成状況を検証しつつ、履歴書の書き方やグループワーク等の啓発、ハローワークへの同行等の必要な就労支援、転宅先の確保、自炊・ごみ出しのルール等、単身生活に必要な知識等の生活支援を行います。</p> <p>○市内 2 施設を事業実施の場とし、概ね 6 か月の支援をする事で年間 8 名以上の方の自立を目指します。</p>						
【主な事業費】						
自立生活移行促進委託料 10,800 千円						
【主な特定財源】						
セーフティーネット支援対策等事業費補助(国) 10,800 千円						
問い合わせ先	地域福祉部 生活援護課長 須崎			電話	724-2135	

件名	地域活動の窓口設置						
	予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
4,523		0	0	0	0	4,523	
【事業の背景・目的】					Ⅱ 部・局別予算概要		169 ページ
<p>地域では、町内会・自治会などの地域の団体やNPO法人などテーマ型の団体が、子育て・防災・福祉など、地域の課題や社会問題の解決に向けた取り組みをしています。</p> <p>しかし、それぞれの活動を知る手段や発信する手段は限られており、時には同じ目的を持ち活動している団体が、同じ対象者に対する事業を、それぞれ実施していることも見受けられます。</p> <p>そこで市では、地域活動の窓口を設置し、地域の課題を認識する場、情報収集・情報発信の場、地域交流の場となる、地域の拠点づくりを進めます。</p> <p>地域の情報が拠点に集約され、市民が地域に関わりたいと考えた時に、地域の情報を拠点から得ることができます。また、情報を積極的に発信することで、自分の住む地域に関心を持ち、地域に関わろうとする市民が増えます。さらには、多くの住民に地域で活動していただき、地域全体で課題を認識することで、関係団体が協力・連携しながら活動し、地域の特性や資源を活用した問題解決に向けた取り組みにつながることを期待できます。</p> <p>窓口機能を有効に生かし、地域・市民活動がさらに活発になるよう、また地域交流が進み地域の活性化につながるよう、地域住民とともに、地域の拠点づくりに向けた環境を整備していきます。</p>							
【事業の内容】							
<p>2012 年度は、町田市における市民協働に関する統一的理解を示すために、「市民協働基本方針（仮称）」を策定します。方針の策定を通じて、行政と市民との協働の推進や、拠点づくりを円滑に進める上で必要な枠組みづくりにつなげます。</p>							
【主な事業費】							
<p>市民協働基本方針策定アドバイザー謝礼 393 千円</p> <p>市民協働基本方針策定事務補助委託 4,130 千円</p>							
町田市市民活動応援キャラクター							
 <p>おうえんマン</p>							
問い合わせ先	市民部 市民協働推進課長 大谷				電話	723-2892	

件名		新庁舎建設事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,212,491			0	0	492,000	665,132

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 103 ページ

現在の市庁舎は1970年に建設されましたが、耐震性への不安、防災・災害復興拠点としての機能不足、分散化、情報技術(IT)化対応への限界、駐車場不足など様々な問題を抱えています。これらの問題を解決し、効率的で経費のかからない執務環境を整えるとともに、市民に開かれた庁舎とするため2009年10月に新庁舎建設に着工し、2012年度は、立体駐車場や外構工事等の庁舎付帯工事も含めた全ての工事を完了させる予定です。

新庁舎での業務開始は2012年7月17日(火)を予定しており、新庁舎への移転を機に、これまで以上の市民サービスの向上を目指していきます。また、移転にあたっては、なるべく市民サービスに影響を与えないよう作業をすすめていきます。

ココに注目!

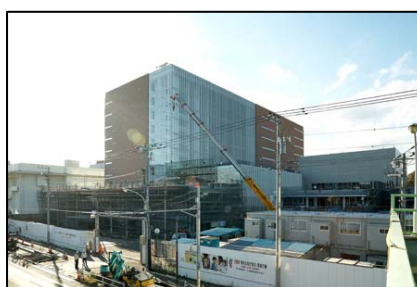


『新庁舎建設効果』については、86 ページを参照してください

【事業の内容】

■ 主なスケジュール

- 庁舎付帯工事 6月中旬まで
- 庁舎移転作業
6月下旬～7月上旬の週末
- 新庁舎開庁
2012年7月17日(火)(予定)



← 新庁舎建設工事の様子 (2011年12月)



→ 新庁舎の1階ロビー (イメージ)

【主な事業費】

■ 建設費用

- 庁舎建設工事費 661,317 千円 (2009～2012年度継続費事業 総額 13,666,535 千円)
- 工事監理委託料 95,815 千円 (2009～2012年度継続費事業 総額 250,487 千円)

■ 移転関連費用

- 備品購入費 400,000 千円 (2011～2012年度債務負担事業 総額 550,000 千円)
- 運搬料 30,000 千円 (2011～2012年度債務負担事業 総額 30,000 千円)

■ 庁舎移転周知、開庁式典費用など

- 広告料 2,320 千円
- 開庁式典等委託料 1,800 千円

< 歳入 >

- 新庁舎建設事業債 492,000 千円
- 公共施設整備等基金 665,132 千円

問い合わせ先	政策経営部 新庁舎建設課長 傳田	電話	709-0593
--------	------------------	----	----------

件名		忠生市民センター建替事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
55,743		0	0	0	0	55,743

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 168 ページ

地域コミュニティやテーマコミュニティなど、地域で活動している市民団体や芸術・文化活動を行う団体などに活動の場を提供し、人と人がつながって地域活動を支えるまちづくりに向け、地域の拠点として老朽化した忠生市民センターの建て替えを進めます。さらに、地域の利便性の向上を目指し、図書館機能や、乳幼児健診を実施できる施設をあわせて整備します。

【事業の内容】

〔規模・構造〕 鉄筋コンクリート造 地上3階 延床面積 約4,480㎡

施設機能	現在	建替後	機能拡充のポイント
市役所支所施設	260㎡	480㎡	・地域活動の拠点として地域活動室(定員30名)を設置 ・災害時は地域活動室に消防団分団本部を開設し、情報連絡拠点として活用 ・相談ブースの設置やカウンター前のスペースの充実
図書施設	図書室 60㎡	図書館 1,300㎡	教育委員会が所管する町田市立図書館を設置(蔵書冊数11万冊程度を予定)
コミュニティ施設	ホール 他5室 470㎡	ホール 他8室 900㎡	・ダンス、軽スポーツ、集会等、多目的に利用できるホールとして、規模・設備を拡充(定員:300名) ・防音設備を備えた多目的室、会議室、和室、料理講習室を設置し、規模・設備を充実
出会い・交流・憩いの施設	40㎡	500㎡	・地域情報や市民活動情報の受発信の場とするためのギャラリー、エントランスロビー、サロンコーナーを設置 ・乳幼児コーナー、授乳室を設置
乳幼児健診施設	—	400㎡	母子保健法に基づく乳幼児集団検診施設を設置
共用空間その他	470㎡	900㎡	非常用発電機室、防災備蓄倉庫等を設置
合計	1,300㎡	4,480㎡	
駐車場台数	27台	65台	

【事業スケジュール】

2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
■基本設計・実施設計 (1年目/2カ年設計)	■基本設計・実施設計 (2年目/2カ年設計)	■建設工事 (1年目/2カ年工事)	■建設工事 ■2月開館 (2年目/2カ年工事)

【主な事業費】

□ 基本設計・実施設計委託 55,024千円 (2011年度～2012年度債務負担行為事業)

問い合わせ先	市民部 市民総務課長 河野	電話	720-1840
--------	---------------	----	----------

件名		地域センター建替事業 (成瀬センター・玉川学園文化センター)					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
20,955		0	0	0	0	20,955	
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 168 ページ			
<p>老朽化した施設の建替えにあたり、より一層使いやすい施設とするために、施設のあり方について市民とともに検討を進め、順次整備していきます。</p> <p>「まちだ未来づくりプラン」に掲げる「未来づくりプロジェクト」では、防災・安全、保健・健康、福祉、環境など、地域ごとのさまざまな分野の課題を解決するため、地域の多様な担い手と市の協働による地域社会づくりを目指しており、その活動を支える拠点の役割も果たします。</p>							
【事業の内容】							
施設名	成瀬センター		玉川学園文化センター				
開設年	1970(S45)年		1974(S49)年				
所在地	成瀬 2144-1		玉川学園 2-19-12				
現施設の主な機能	○貸出施設 ・ホール ・会議室(3室) ・和室(2室) ・多目的室 ・小会議室 ・スポーツ室 ・グラウンド ○地域文庫		○証明発行窓口 ○児童図書室 ○貸出施設 ・ホール ・会議室(3室) ・和室 ・いこいの間				
2012年度事業概要	○基本設計・実施設計 (1年目/2か年設計)		○「建替検討委員会」設置 ○「建替検討市民ワークショップ」開催 ○基本計画策定				
【事業スケジュール】							
施設	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
成瀬センター	■基本計画策定	■基本設計・実施設計 (1年目/2か年設計)	■基本設計・実施設計 (2年目/2か年設計)	■建設工事 (1年目/2か年工事)	■建設工事 (2年目/2か年工事) ■11月開館		
玉川学園文化センター	■基本方針作成	■基本計画策定		■基本設計・実施設計 (1年目/2か年設計)	■基本設計・実施設計 (2年目/2か年設計)	■建設工事 (1年目/2か年工事)	■建設工事 (2年目/2か年工事) ■11月開館
【主な事業費】							
◆ 成瀬センター							
□基本設計・実施設計委託		13,770千円	(2012～2013年度債務負担行為事業)				
□地質調査委託		2,396千円					
◆ 玉川学園文化センター							
□基本計画策定支援委託		4,553千円					
問い合わせ先	市民部 市民総務課長 河野			電話	720-1840		

件名		耐震改修促進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
72,263		25,915	42,114	0	0	4,234

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 443 ページ

大規模地震の発生による道路の閉塞を防ぎ、避難や救助活動、物資の輸送が行えるように、「緊急輸送道路」※1 沿道の建築物の耐震化を町田市耐震改修計画に基づき推進します。

特に、「特定緊急輸送道路」※2 沿道建築物については、「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」により、対象となる物件の耐震診断実施が義務化されており、重点的に耐震化を進めます。

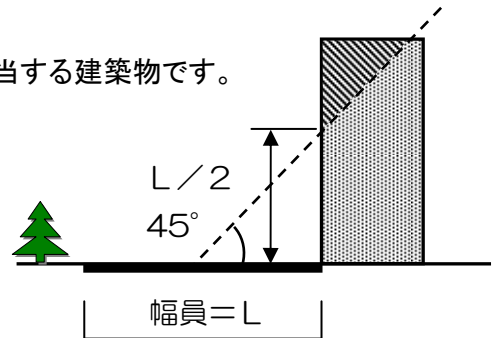
※1 緊急輸送道路：町田街道や鎌倉街道など、防災上重要な幹線道路で東京都が指定した道路です。

※2 特定緊急輸送道路（耐震診断義務化路線）：緊急輸送道路のうち、特に沿道建築物の耐震化を推進する必要がある道路です。

【事業の内容】

○耐震診断実施義務の対象となるのは、下記の条件全てに該当する建築物です。

- ・敷地が緊急輸送道路に接している建築物
- ・昭和56年5月31日以前に着工された建築物
- ・「道路幅員の概ね1/2以上の高さである（右図）」



○費用の助成制度について（例）

・「特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断費用」

①助成対象費用の限度額

- イ 面積1,000㎡以内の部分は2,000円/㎡以内
- ロ 面積1,000㎡を超えて2,000㎡以内の部分は1,500円/㎡以内
- ハ 面積2,000㎡を超える部分は1,000円/㎡以内

（建築物等の延べ面積が3,000㎡未満の場合は、イからハまでの合計に階数に15万円を乗じた額を加算した額以内。）

②助成率と助成限度額

助成率：100%

（ただし、延べ面積が15,000㎡以下の建築物等（分譲マンションを除く）は、助成対象費用の1/3に770万円を加えた額以内。延べ面積が15,000㎡を超える建築物等（分譲マンションを除く）は、助成対象費用の4/5以内。）

【主な事業費】

- ・耐震改修促進計画業務委託料 5,000 千円
- ・緊急輸送道路沿道建築物耐震促進助成金 67,263 千円

【主な特定財源】

- ・社会資本整備総合交付金（国） 25,915 千円
- ・耐震改修費補助金（都） 42,114 千円



問い合わせ先	都市づくり部 建築指導課長 鈴木	電話	709-0608
--------	------------------	----	----------

件名	住宅耐震促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
49,932		16,739	2,656	0	0	30,537

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 454 ページ

町田市では、大規模地震発生による住宅の倒壊を少なくし、「安心して生活できるまちをつくる」ために、地震対策として住宅の耐震化を新 5 カ年計画における重点事業として位置付け、木造住宅の耐震診断や耐震設計および工事の支援、分譲マンションの耐震診断の支援などの事業により耐震化を推進しています。

【主な事業の内容】

- 本制度による診断、助成の対象となる建物は、市内にあり、昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工し、自らが居住している木造住宅、分譲マンションです。
- 簡易耐震診断(木造住宅)は、無料で受けることができます。
- 耐震診断(木造住宅は精密耐震診断)、地震に対して安全な構造とするための耐震設計、耐震改修工事、耐震シェルター等設置に対し、それぞれに要した経費の一部を市が助成します。
- 各地域で耐震相談会等を実施し、耐震化の必要性と助成制度の周知など、普及啓発を行っています。
- ※その他、木造住宅耐震アドバイザーの派遣事業、分譲マンション耐震アドバイザー費用の助成などにより、住宅の耐震化を進めています。
- ※高齢者世帯の耐震改修工事・耐震シェルターは、上限額に上乗せがあります。

項目	内容	予定件数	
木造住宅簡易耐震診断事業	市が診断士を派遣	250 件	
木造住宅精密耐震診断助成事業	経費の 1/2	10 万円上限	60 件
木造住宅耐震設計助成事業		10 万円上限	30 件
木造住宅耐震改修工事助成事業		50 万円上限	21 件
木造住宅耐震シェルター等設置助成事業		20 万円上限	7 件
分譲マンション耐震診断助成事業	対象経費の 2/3、500 万円上限	-	

【主な事業費】

- ・住宅耐震促進委託料 17,828 千円
- ・住宅耐震促進助成金 31,989 千円

【主な特定財源】

- ・社会資本整備総合交付金(国) 16,739 千円
- ・住宅費補助金(都) 2,656 千円



問い合わせ先	都市づくり部 住宅課長 端	電話	709-0579
--------	---------------	----	----------

件名		雨水管整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,665,200		493,800	24,690	961,000	0	185,710

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 470 ページ

近年多発するゲリラ豪雨による都市型の浸水被害が大きな社会問題となっており、その対策が求められています。そこで、過去 15 年間の浸水被害箇所の降雨規模と被害状況を分析して、浸水被害対策を図る地区を抽出し、この地区の雨水管整備事業を優先的に行います。

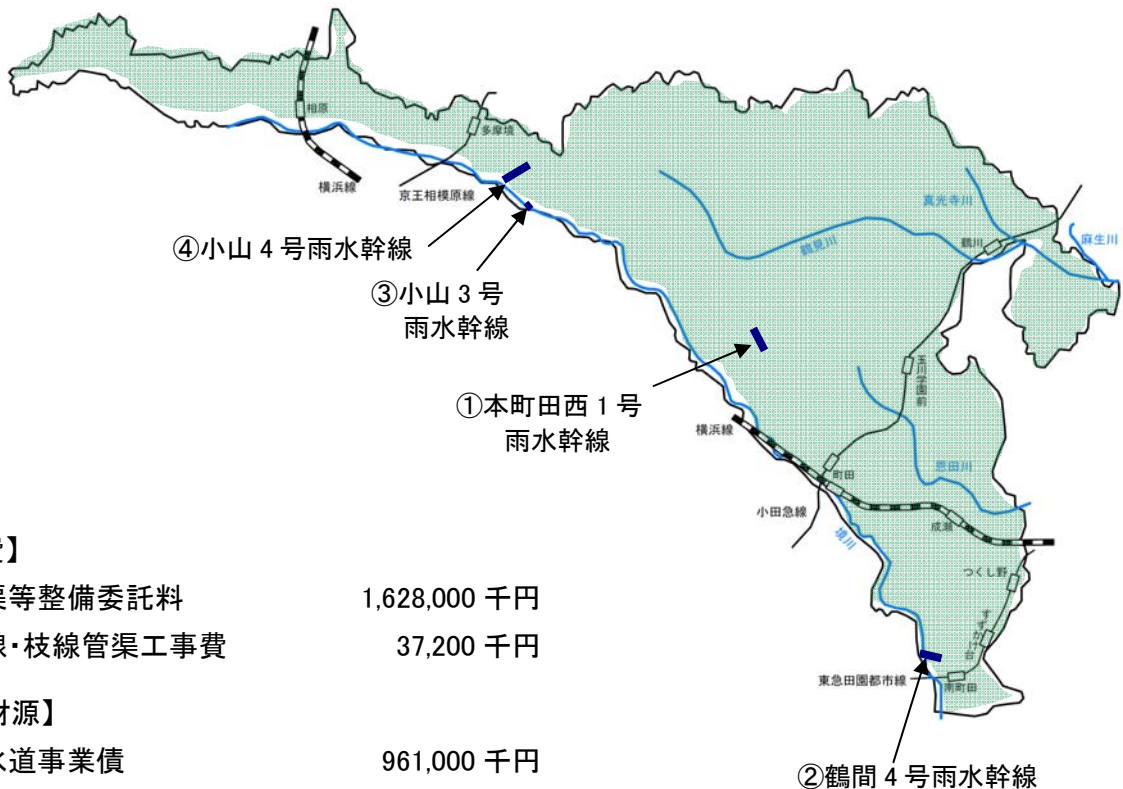
また、道路拡幅事業にあわせた、雨水管整備を行います。

【事業の内容】

主な雨水幹線工事

- ①本町田西 1 号雨水幹線工事(木曽西・木曽東) φ 1100 mm ～ φ 1500 mm 延長 442m
- ②鶴間 4 号雨水幹線工事(鶴間国道 16 号) φ 2000 mm 延長 569m
- ③小山 3 号雨水幹線工事(小山町) □2500 mm × 1300 mm 延長 30m
- ④小山 4 号雨水幹線工事(小山町) □2000 mm × 2000 mm 延長 394m

※凡例 φ：円形管（鉄筋コンクリート管）、□：矩形管（ボックスカルバート）



【主な事業費】

管渠等整備委託料	1,628,000 千円
幹線・枝線管渠工事費	37,200 千円

【主な特定財源】

下水道事業債	961,000 千円
社会資本整備総合交付金(国)	493,800 千円
下水道費補助(都)	24,690 千円

問い合わせ先	上下水道部 工務課長 福田	電話	720-1812
--------	---------------	----	----------

件名		防災情報設備整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
130,207		0	38,000	43,000	0	49,207

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 185 ページ

災害時に迅速に対応できる防災・災害復興拠点機能を整備するべく、防災センターを新庁舎の3階に開設します。

防災センターには、災害時に情報を集約し状況を把握できる機能を備え、災害対策の指揮を執る災害対策本部室を中心に、関係機関との密接な連携をとるための情報司令室、消防団の本部が設置される消防団本部室、無線を使用して情報収集や情報発信を行う無線室などを整備します。

さらに、防災行政無線については、導入後20年以上が経ち老朽化が進んでいること、また、国がデジタル化を推進していることから再整備し、デジタル化に移行します。整備にあたってはアナログ方式を併用しながら、段階的に進めてまいります。

【事業の内容】

災害時における災害対策本部の迅速かつ的確な災害対応の決定を支援するため、防災センターにおいて市内の被災状況の収集し共有できるように、情報収集のための衛星携帯電話設備、情報共有のためのディスプレイ、災害対応の決定のための会議システム等を整備します。

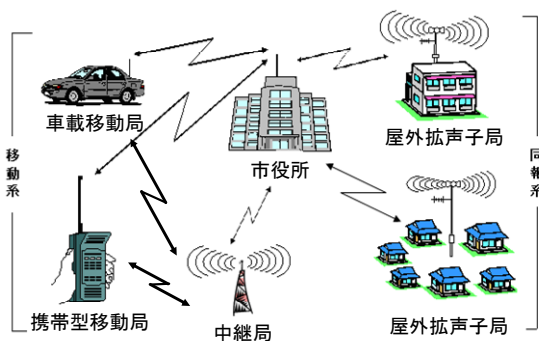
防災行政無線については、2017年度にデジタル化整備完了を目指し、2012年度は現在の設備を新庁舎へ移転するとともに、デジタル化実施設計を行います。

【主な事業費】

- ・防災センター設備設置 58,512 千円
- ・衛星携帯電話アンテナ設置工事 2,575 千円
- ・都防災無線・DIS移設 32,000 千円
- ・計測震度計移設 3,255 千円
- ・防災行政無線移設 24,457 千円
- ・防災行政無線デジタル化実施設計 9,408 千円

【主な特定財源】

- ・市町村総合交付金 38,000 千円



防災行政無線デジタル化イメージ



問い合わせ先	市民部 防災安全課長 原	電話	724-3075
--------	--------------	----	----------

件名		協働パトロール隊推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
300			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要		172 ページ
<p>2012年1月現在、市内においては町内会・自治会を中心とした162団体の防犯パトロール隊が設立され活動しています。</p> <p>それぞれのパトロール隊は地域事情に合わせた活動をしており、積極的な防犯活動を実施している隊がある一方で、人員の確保が難しく十分な活動ができていない隊も多くあり、中には活動を中止せざるを得ない隊もあります。</p> <p>そこで、市では、現在それぞれの隊が個々に活動していることにより、人員不足や参加者の固定化等の問題が発生していることに鑑み、地域の枠に捉われない防犯ボランティアを募り、協働パトロール隊を設立します。</p>						
【事業の内容】						
<p>現在の防犯パトロールは、市、警察、商店会、町内会・自治会による合同パトロールを実施しています。</p> <p>現在パトロール隊を構成している団体の他に、地域の枠に捉われない防犯ボランティアの方々等に参加していただくことによって、町内会・自治会単位での限られた人員によるパトロールからの脱却を図り、いずれの地域でも苦慮している人員の確保という問題点を解消することによって、継続性を持たせたパトロール隊の設立を図ります。</p> <p>設立した協働パトロール隊は、2012年度は民間交番を拠点とし、町田駅を中心とした繁華街においてパトロールを実施します。</p>						
						
<p><町田市民間パトロール車></p>						
【主な事業費】						
<p>パトロール隊装備品 300千円</p>						
問い合わせ先	市民部 防災安全課長 原			電話	724-3075	

件 名	中心市街地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
5,000		0	0	0	0	5,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 441 ページ

都市計画マスタープランでは、都市の骨格構造を担う「にぎわいの拠点」として、各駅周辺や団地センター等をその規模に応じて「都市核・副次核・生活中心地」に位置づけ、にぎわいと交流を創出するまちづくりを進めながら拠点の活性化を図ります。

このうち、市内最大の拠点の「都市核」である町田駅周辺について、これまでのまちづくりの蓄積を活かしながら、より一層の利便性と魅力を備えた中心市街地に育成していくことをめざし、未来づくりプロジェクト「町田駅周辺の魅力を向上するプロジェクト」に位置づけました。

プロジェクトの遂行に向けて、めざすべき市街地像を明らかにした上で、市民・事業者と協働しながら、まちの魅力を高めるための市街地整備の取り組みを進めます。

【事業の内容】

○中心市街地の拠点形成方針の策定

町田駅周辺の特性・課題や将来動向を検証し、都市核としての充実を図るための中心市街地全体の土地利用の誘導方針と市街地整備の方向性を示す「拠点形成方針」の策定を進めます。今後は、この方針内容に即した都市計画制度（地区計画、市街地開発事業、特別用途地区等）の活用を、積極的に行っていきます。

○アクションエリアの展開に向けた検討

都市計画マスタープランで重点的に取り組むエリア（アクションエリア）に設定した各地区について、土地利用の方向性と実現のための具体方策を検討していきます。

〔小田急線町田駅周辺地区〕

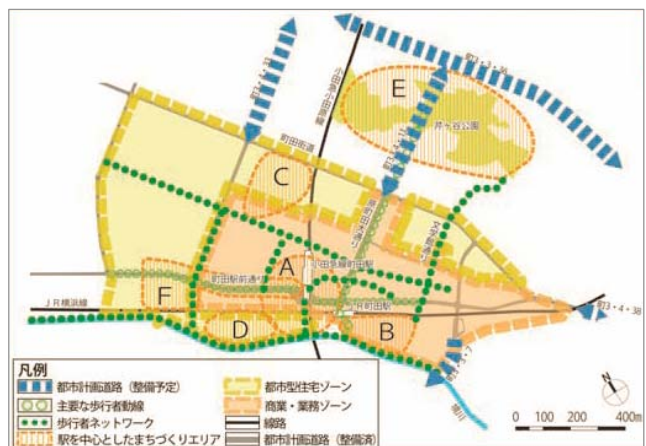
交通ターミナル機能の強化のための施設整備、にぎわい景観の形成

〔新庁舎周辺・庁舎跡地周辺地区〕

新庁舎周辺の歩行環境の整備、庁舎移転後の跡地活用に向けた導入用途の検討

〔芹ヶ谷公園周辺地区〕

シンボルロードの形成、隣接市有地を含めた総合的な公園活用方法の検討



アクションエリア分布図（中心市街地）

【主な事業費】

町田駅周辺市街地整備事業調査検討委託料 5,000 千円

問い合わせ先	都市づくり部 まちづくり推進課長 沖	電話	709-0642
--------	--------------------	----	----------

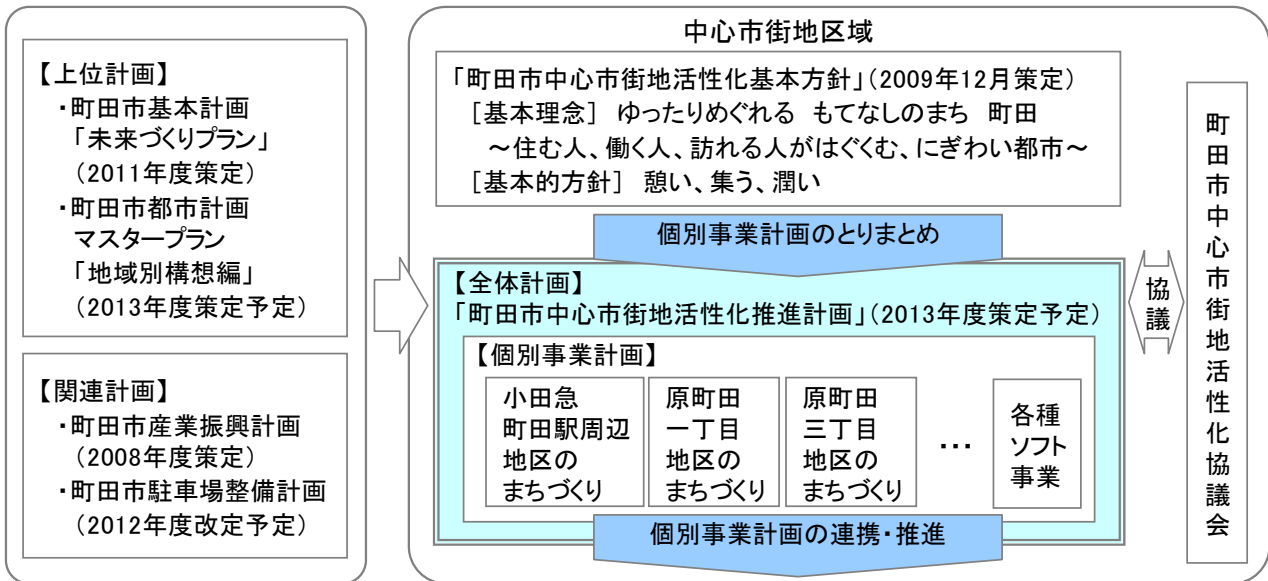
件 名	中心市街地活性化推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6,170		0	0	0	0	6,170

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 371 ページ

2009年12月に策定した町田市中心市街地活性化基本方針の具体化を図り、新たな賑わいの創出に取り組むため、町田市中心市街地活性化推進計画（以下「推進計画」という。）を策定します。

推進計画の策定により、中心市街地における個別の事業計画がとりまとめられ、地元商業者、事業主体、行政等が連携を強化することにより、中心市街地の活性化を促進します。



【事業の内容】

○事業期間と内容

2012年度「推進計画(案)」とりまとめ

- ・まちづくりの経緯と課題の整理、上位関連計画の整理
- ・課題解決のための戦略の設定、取り組み案の例示

2013年度「推進計画」策定

- ・優先的な取り組みの選定
- ・協議会との協議、調整

《中心市街地区域》

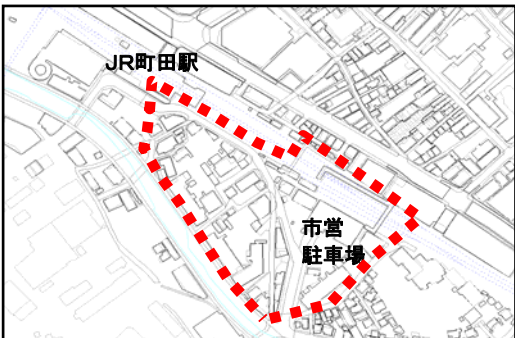



【主な事業費】

○中心市街地活性化推進計画策定支援委託料

4,500 千円

問い合わせ先	経済観光部 産業観光課 中心市街地活性化推進担当課長 池ノ内	電話	724-3296
--------	-----------------------------------	----	----------

件名		原町田一丁目地区まちづくり事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
29,192			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 371 ページ		
<p>原町田一丁目地区は、中心市街地の南側の玄関口でありながら、鉄道による南北の回遊性の遮断や、建設から30年以上が経過している原町田一丁目駐車場（以下、「市営駐車場」という。）の老朽化といった課題を抱えており、この課題の解決に向け、都市施設の機能更新や整備を図り、新たな賑わいの創出を目指します。</p>						
【事業の内容】		<p>市営駐車場と周辺土地を含めた一体的なまちづくりを推進し、駐車場の機能更新や交通広場機能等の整備を図るため、関係地権者や地域住民の方々との協議・調整を行い、まちの将来像と土地利用、都市施設の整備方針を示すまちづくり基本計画の検討を進めます。</p> <p>また、老朽化した市営駐車場の機能を更新するにあたり、施設の適正な規模や機能等を検討するため、現況の交通及び駐車等の実態を把握することを目的として、駐車利用実態調査や路上駐車台数調査等を実施します。</p>				
【主な事業費】		<p>原町田一丁目地区まちづくり基本計画策定支援委託料 12,000 千円</p> <p>原町田一丁目駐車場整備検討調査委託料 16,950 千円</p>				
		 <p><原町田一丁目地区対象エリア></p>				
		 <p><原町田一丁目地区></p>				
問い合わせ先	経済観光部 産業観光課 中心市街地活性化推進担当課長 池ノ内			電話	724-3296	

件 名	市民ふれあい農園開設事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
3,500		0	0	0	0	3,500

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 364 ページ

食の安全・安心への関心の高まりや環境問題を考える中で、農業に触れたいというニーズが高まっています。しかし、現在の市民農園は、利用者が近隣の住民に限られ、個人利用にとどまっている状況です。

そこで、市民と農のふれあいの場として、グループや家族単位でも農に親しむことができるよう休憩所や交流の場、駐車場等の付帯設備を併設した農園を開設し市民要望に応えます。

市民ふれあい農園を通じて多くの市民が、町田の農業により関心をもち、地産地消や農地保全、農業後継者の育成などの農業振興につながることを目指します。

【事業の内容】

2012 年度は候補地の選定、利用層のニーズの把握、必要な施設の配置、利用料や開設後の運営方法等の基本構想を作成します。

【主な事業費】


市民ふれあい農園基本構想策定委託料 3,500 千円



＜ふれあい農園イメージ＞



問い合わせ先	経済観光部 農業振興課長 鈴木	電話	724-2885
--------	-----------------	----	----------

件名		創業支援・企業誘致推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
13,580			0	0	0	0
<div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> Ⅱ 部・局別予算概要 367 ページ </div> <p>【事業の背景・目的】</p> <p>町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」において、事業者の創業支援及び企業の誘致を目標に掲げています。</p> <p>新庁舎移転後に中町第三庁舎の跡地に創業支援施設の整備及び新たに町田市で活躍できる企業を誘致し、地元企業の育成及び新たな雇用の創出を目指し、もって市産業の振興を図ります。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>【事業の内容】</p> <p>町田市が交通結節点であるという長所を活かし、近隣地域との連携・補完を図りながら、事業者が創業しやすい環境又は市内に転入しやすい環境を整備することで、事業者が地元で根ざすことをサポートし、地域経済の活性化を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 190万人の圏域を市場化する取り組み及び産業における町田色の創出 <ul style="list-style-type: none"> ① 産学官連携によるネットワークの構築（アート・デザイン系、健康科学系の大学等との連携） ② 創業支援施設の創出 <p>創業希望者のために、低額な家賃の設定及びインキュベーションマネージャー等専門家を配置することにより支援していきます。</p> ③ 企業誘致 <p>創業者支援とあわせ、家賃の低額化等の支援方法を検討し、同施設内に企業を誘致していきます。</p> ○ 2012年度は、町田市がどのような業態の企業を支援すべきかを決定し、その上で、創業支援施設の運営方法や、改修工事に係る設計を行い、2013年度のオープンを目指します。 <p>【主な事業費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 創業支援・企業誘致整備計画策定委託料 10,000 千円 ○ 創業支援・企業誘致施設設計委託料 3,580 千円 						
問い合わせ先	経済観光部 産業観光課長 新田			電話	724-2944	

件名	鶴川緑の交流館整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,874,640		80,286	180,000	1,082,000	245,000	287,354

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 198 ページ

市民の活動の場や発表の機会の充実を図り、芸術文化活動を促進する目的で、小田急線鶴川駅前に複合施設を建設中です。主な施設は、300席の音楽を中心とした多機能ホールや図書館、駅前連絡所、貸出施設、共有スペースなどが設置されます。

ホール、コミュニティ、図書館の各機能の特性を活かした連携事業を展開し、芸術文化の交流拠点としての施設を目指します。

駅前連絡所と貸出施設は9月末に先行オープンし、10月中に図書館とホールがオープンする予定です。

【事業の内容】

2012年8月完成予定の「鶴川緑の交流館」建設工事の最終年度(3年度目)になります。

2012年9月の開館を目指して、開館準備委員会での開館記念事業の検討や、備品の購入等開館準備を行います。

【主な事業費】

- 鶴川緑の交流館建設工事費 1,603,461千円 (2010年度～2012年度債務負担行為事業)
- 工事監理委託料 20,296千円 (2010年度～2012年度債務負担行為事業)
- 鶴川緑の交流館開館準備委託料 29,158千円
- 鶴川緑の交流館管理運営委託料 78,700千円
- 備品購入費 124,468千円

【主な特定財源】

- 社会資本整備総合交付金(国) 80,286千円
- 市町村総合交付金(都) 180,000千円
- 市債 1,082,000千円



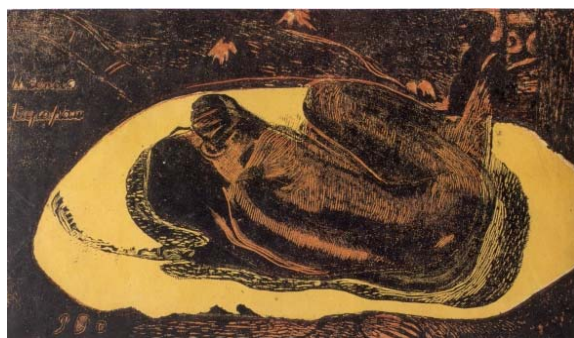
鶴川緑の交流館 完成イメージ図

⇒関連事業「鶴川駅前図書館整備事業」(25ページ)

問い合わせ先	文化スポーツ振興部 文化振興課長 石井	電話	724-2184
--------	---------------------	----	----------

件名		博物館再整備計画策定事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
450			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要		199 ページ
<p>市立博物館は、築後 38 年が経過し、建物の老朽化、狭隘化が課題となっています。</p> <p>2010 年度に外部の学識経験者による「町田市博物館等の新たな在り方構想検討委員会」を設置し、2011 年 3 月に『町田市博物館等の新たな在り方構想検討結果報告書—魅力ある文化芸術を育む都市・町田のために』をまとめました。</p> <p>2011 年度はこれまでの検討結果を受け、新たな博物館のビジョンやコンセプト（美術工芸品を活かした博物館等）を明確にする作業を行っています。</p> <p>2012 年度は博物館の再整備に向け、2013 年度までの 2 か年で博物館再整備基本計画を策定します。</p>						
【事業の内容】						
博物館再整備基本計画を策定します。						
○策定期間	2012 年度から 2013 年度					
○検討内容	新たな博物館の具体的な機能、規模、あり方について、市民の意見を吸収しながら、有識者で構成される委員会にて検討し、施設活動を重視した実現性のある基本計画を策定します。					
【主な事業費】						
○博物館整備委員会委員謝礼	300 千円					
○博物館再整備基本計画策定支援委託料						
(2012～2013 年度債務負担行為事業 総事業費 16,000 千円)						
						
現在の町田市立博物館		しろじあおきせぶどうりすもんへ 白地青被葡萄栗鼠文瓶（当館蔵）				
問い合わせ先	文化スポーツ振興部 博物館副館長 奥山			電話	726-1531	

件名		国際版画美術館展示事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
60,737			0	0	0	15,623	45,114
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 200 ページ			
<p>町田市のブランド力を高め、地域活性化につなげるため、重点施策に掲げる「文化芸術作品の鑑賞機会の充実」に向け、文化芸術の拠点としての集客力を高めるとともに、優れた芸術に触れたいという市民の要請に応じてゆきます。</p> <p>質量ともに充実した収蔵作品を有効活用し、借用品も含め優れた展示を多角的に実施することで、市外からの来館者も見込み、市民が気楽に芸術を鑑賞できるようにし、市民の知識・教養や文化・芸術への関心の向上に寄与します。また美術館が市民のやすらぎや楽しみ、気分転換の場となることをめざします。</p>							
【事業の内容】							
<p>7回の企画展示と4回のミニ企画を実施。2012年は開館25周年に当たるため、春・秋の企画展は予算規模、内容ともに充実をはかり、市内外に存在をアピールできるような大型展とします。</p>							
<p>＜2012年度の特徴ある展示＞</p>		<p>ゴッゲン「マナオ・トゥパパウ(彼女は死霊のことを考えている)」1893-94年 当館蔵</p>					
<p>◎春の特別展『開館25周年記念 版画の冒険——ミレー、ドガからムンクまで』 4月14日～6月17日</p> <p>19世紀半ば、それまで隆盛を誇っていた版画の世界に一大転換期が到来します。版画は「図像を複数化する」というそれまで一手に担ってきた役割を写真によって奪われたのです。古い技術としてすたれてしまうのか、それとも…。本展では版画に新たな価値を見出し、「芸術表現」へと昇華させていった人々の格闘のあとを、フランスのパリから貸し出される貴重な作品も含めて総数約200点でたどります。</p>							
<p>◎秋の特別展『開館25周年記念 北斎と広重 きそいあう江戸の風景』(仮) 10月6日～11月25日</p> <p>優れた浮世絵は現代に生きる私たちを、どこか懐かしく、また同時に新鮮な江戸の風景の中に誘ってくれます。本展では、浮世絵の風景版画が北斎と広重によって本格的に花開くまでの道を総合的に紹介します。北斎と広重—日本人なら誰もが知っている二大浮世絵師を中心に総数約380点の豪華なラインナップで開館25周年を飾るにふさわしい展示とします。</p>							
【主な事業費】							
◆ 通信運搬費		10,822 千円					
◆ 展覧会ポスター、図録作成委託料		14,741 千円					
◆ ディスプレー作成委託料		10,003 千円					
◆ 広告宣伝委託料		5,700 千円					
【主な特定財源】							
◆ 企画展観覧料		9,851 千円					
◆ 図書販売代		4,102 千円					
問い合わせ先				文化スポーツ振興部 国際版画美術館副館長 佐川		電話	726-2771



ゴッゲン「マナオ・トゥパパウ(彼女は死霊のことを考えている)」1893-94年 当館蔵



葛飾北斎「富嶽三十六景 山下白雨」

山口県立萩美術館・浦上記念館蔵

件名	小野路公園整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
195,000		0	31,000	133,000	0	31,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 451 ページ

市民がトップレベルのスポーツを楽しめる環境づくりの推進のため、小野路公園野球場の整備を進めます。2012年7月に、硬式高校野球西東京大会の開催、2013年度には第68回国民体育大会の軟式野球大会の開催を予定しています。



【事業の内容】

- ・小野路公園管理棟改修(更衣室・シャワー室・会議室・トイレ)一式
- ・小野路公園新設駐車場・園路整備
 〈駐車台数:普通74台→132台:大型0台→5台、園路:幅2m・延長310m〉
 (2011～2012年度債務負担行為)
- ・小野路公園駐車場舗装等整備工事(舗装:1,700㎡、管理柵設置:250m、照明設備工事:4灯)

年度	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)
	大会予定等		高校野球 西東京大会 7月初旬～7月下旬
公園管理棟改修工事		改修工事 (8月～2月) →	
駐車場・園路歩道整備	駐車場・園路歩道整備工事 (1月～6月) →		
舗装等整備工事		駐車場舗装等整備工事 (8月～2月) →	

【主な事業費】

- ・小野路公園管理棟改修工事……………81,000千円
- ・小野路公園新設駐車場・園路整備工事…30,000千円
 (2011～2012年度債務負担行為 総額50,000千円)
- ・小野路公園駐車場舗装等整備工事……………68,000千円
- ・工事監理委託料……………9,000千円



問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 望月	電話	793-7648
--------	------------------	----	----------

件名	町田市立陸上競技場整備事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
3,319,000		0	451,000	2,441,000	0	427,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 449 ページ

町田市立陸上競技場は、町田市をホームタウンとするFC町田ゼルビアの J2リーグ公式試合や、武相マラソンなど、全国規模の大会開催が予定され、2013年のスポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会)ではサッカー競技会場となります。スポーツ振興計画「スポーツで人とまちがひとつになる」の理念に基づき、Jリーグの試合開催が可能な競技場、また第三種公認陸上競技場として整備を進めます。



【事業の内容】

- ・メインスタンド増築改修、トラック改修(2011～12年度 債務負担行為事業)
- ・その他整備(付属棟、膜屋根、スタンド座席、外溝その他工事)
- ・アプローチ歩道・バス発着場兼駐車場整備、メインスタンドデッキ上屋整備、西駐車場整備工事
- ・仮設メディアセンター借り上げ(2011～12年度 債務負担行為事業)
- ・仮設メディアセンター解体工事
- ・陸上競技場備品購入

完成予想図



項目	2011年度 (平成23年度)				2012年度 (平成24年度)											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
メインスタンド解体、目隠しフェンス設置																
陸上競技場整備 (メインスタンド改修、トラック改修など)					工期:2012年2月～2013年2月(12ヶ月)											
西側駐車場整備												工期2012年9月～2013年2月(6ヶ月)				
・バス発着場兼駐車場 ・アプローチ歩道											工期2012年9月～2013年2月(6ヶ月)					
開催予定					2012年J2シーズンマッチ開催 2012年3月～11月											

【主な事業費】

- ・メインスタンド増築改修、トラック改修 2,153,200 千円
(2011～12年度 債務負担行為 総額 2,392,200 千円)
- ・その他整備(付属棟、膜屋根、スタンド座席、外溝その他工事) 564,000 千円
- ・アプローチ歩道・バス発着場兼駐車場整備 50,000 千円

問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 望月	電話	793-7648
--------	------------------	----	----------

件名		まちだカーニバル事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,000			0	0	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要		369 ページ
<p>スポーツ祭東京 2013 を翌年に控え、開催に向けた機運を高めるとともに、国体を契機としたシティセールスを推し進めるため、町田市の様々な力を結集したパフォーマンスイベントを開催し、町田市の魅力を広く発信していきます。</p>						
【事業の内容】						
[イベント概要]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ パフォーマンス <ul style="list-style-type: none"> ➢ よさこいソーラン、エイサーなどの団体によるパフォーマンス ➢ ダンスチーム、チアリーディング、大道芸、リフティングフリースタイルなどのパフォーマンス ➢ トップアスリートや全国で活躍する市内のスポーツ選手によるパフォーマンス ➢ その他招待団体、選手によるパフォーマンス ・ 町田市の食の魅力を PR 						
[実施主体]						
市内事業者、経済関係団体及び町田市で実行委員会を設置します。						
[実施時期]						
2012 年 10 月						
町田時代祭りと同時開催し、一体でプロモーションしていくことでイベントの発信効果を高めていきます。						
[会場]						
原町田大通り ほか						
【主な事業費】						
まちだカーニバル負担金 10,000 千円						
問い合わせ先		経済観光部 産業観光課長 新田			電話	724-2944



(カーニバル イメージ)

件名	第68回国民体育大会開催準備事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
84,306		0	24,866	0	0	59,440

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 202・206 ページ

2013年に開催されるスポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会)が開催されます。町田市では、4競技(サッカー、バレーボール、軟式野球、バドミントン)と1行事(レクリエーションダンス)を実施します。大会の開催は、生涯スポーツ社会の実現や活力ある地域づくりを進めるうえで意義深いものであり、「スポーツのまち・町田」を全国に発信する絶好の機会です。また、大会を成功させるための様々な取組みを市民と一体となっていくことで、「市民との協働によるまちづくり」を推進します。

大会に参加する選手をはじめ、応援や観戦のため全国から町田市に訪れる方を迎え入れるにあたり、会場となる総合体育館のトイレ等を改修します。

【事業の内容】

○事業主体である「スポーツ祭東京2013町田市実行委員会」に負担金を交付します。実行委員会の事業として町田市開催競技のリハーサル大会を開催します。

《リハーサル大会》

競技名	バレーボール	サッカー	バドミントン
大会名	第67回国民体育大会 関東ブロック大会	第48回全国社会人 サッカー選手権大会	バドミントン日本リーグ2012 2部リーグ 町田大会
実施日程	2012年8月25日(18試合)	2012年10月13日・14日(4試合)	2012年11月23日～25日 (56試合)
会場	総合体育館	駒沢オリンピック公園陸上競技場	総合体育館

○スポーツ祭東京2013 町田市実行委員会の事業として町田市開催競技・スポーツ行事ごとにイベントを開催し、普及・啓発に繋げていきます。(町田市体育協会、町田市各競技団体等と協力し、スポーツ教室やスポーツ観戦事業などを開催)

○総合体育館のトイレを和便器から洋便器へ交換等の施設改修を行います。

《スケジュール》

	2012年度												2013年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
リハーサル大会・本大会開催					●		●	●										●	●					
					バレーボール		サッカー	バドミントン										本大会						

【主な事業費】

東京国体準備事務負担金 42,000 千円

総合体育館トイレ等改修工事 38,639 千円

【主な特定財源】

第68回国民体育大会競技施設整備費補助金 13,725 千円

第68回国民体育大会リハーサル大会運営費補助金 8,468 千円

第68回国民体育大会競技普及啓発事業費補助金 2,000 千円

問い合わせ先	文化スポーツ振興部 国体推進課長 能條	電話	724-5830
--------	---------------------	----	----------

件名	芸術文化イベント推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2,700		0	0	0	0	2,700

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 197 ページ

2012年度は、鶴川緑の交流館の開館と、国際版画美術館が開館25周年を迎えます。この機会に合わせて、情報誌を作成し、町田市の芸術文化の認知度を高めます。

【事業の内容】

情報誌の概要は次のとおりですが、作成にあたっては大学等と連携し、企画・編集などを行います。

情報誌概要	A4 サイズ 4色カラー刷り 32 ページ程度
発行部数	5,000 部 ※一部付録つき販売を行う予定
販売・配布場所	関連芸術文化施設、共催事業団体、協賛店舗、市内書店等
情報誌の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化施設のイベント情報・スケジュール ・芸術文化施設のエリアマップ ・市内彫刻作品や市内の文化的景観などの情報を掲載 ・商店や企業等の協賛広告 ・町田市の芸術文化施設の入場券や版画作品等の付録つき
発行時期	2012 年の 10 月頃(予定)
販売価格	付録つきについては1冊 500 円 ※販売金額は受託会社の収入となります。



【主な事業費】

冊子企画・制作委託料 2,700 千円



問い合わせ先	文化スポーツ振興部 文化振興課長 石井	電話	724-2184
--------	---------------------	----	----------

件名	観光交流センター整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
87,100		34,700	0	47,100	0	5,300

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 369 ページ

小野路地域の環境と街並みをいかした一体的な街づくりを進めていくことを目的に策定した小野路宿通り周辺地区都市再生整備計画に基づき、観光交流の拠点として「(仮称)小野路宿通り観光交流センター」を建設します。

＜施設イメージ＞



東立面図



北立面図(宿通り側)

【事業の内容】

旧民家(角屋)の建物を活かしながら観光交流センターとして整備します。主屋については、休憩・飲食スペース、物販スペースとして整備します。また、既存の土蔵については展示室に、味噌蔵、製茶場については様々な体験事業に活用できるようにします。併せて、庭や塀の整備なども行い、全体としての修景を整えていきます。

○観光交流センター建設工事(2012年度～2013年度債務負担行為 総事業費 227,212千円)


＜事業計画＞

2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
・用地取得 ・基本計画策定	・実施設計 ・東側水路測量、設計 ・主屋一部解体	・東側水路改修	・建設工事 ・施設条例制定 ・指定管理者選定	・前面歩道舗装改良工事 ・11月オープン

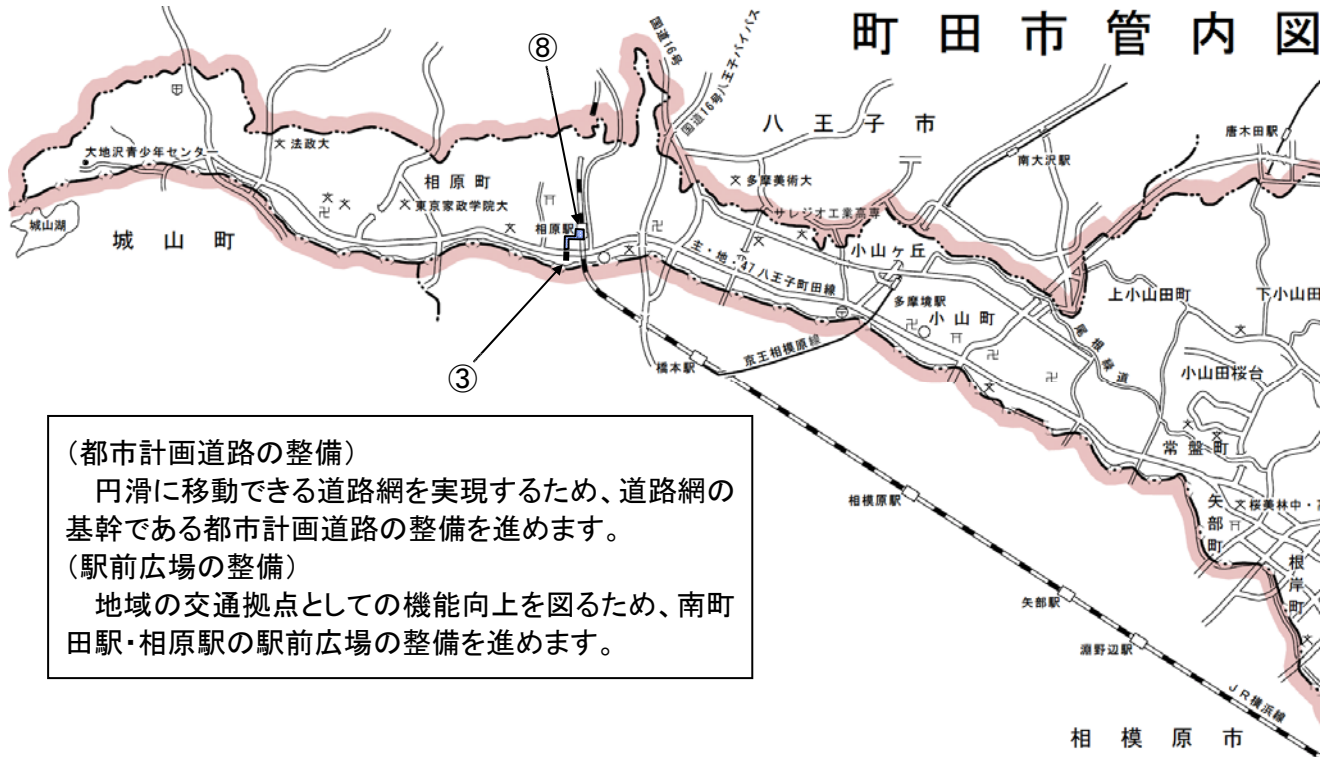
【主な事業費及び特定財源】

		事業費	2012年度	2013年度
事業費	工事費	217,750	87,100	130,650
	工事監理委託料	9,462	0	9,462
	合計	227,212	87,100	140,112
財源内訳	国庫支出金(社会資本整備総合交付金)	90,500	34,700	55,800
	市債	122,900	47,100	75,800
	一般財源	13,812	5,300	8,512

問い合わせ先	経済観光部 産業観光課長 新田	電話	724-2944
--------	-----------------	----	----------

件名		シティセールス事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
19,742			0	19,742	0	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要		369 ページ
<p>FC 町田ゼルビアが参加する J リーグ(サッカー)、ペスカドーラ町田が参加する F リーグ(フットサル)は、それぞれ全国から注目を集める国内トップレベルのリーグであり、町田市のシティセールス活動を展開していく上で、絶好の機会となっています。さらに、町田市と友好関係にある地方都市の地元イベントなども、町田市の認知度の更なる向上を図るうえで効果が期待できます。</p> <p>こうした機会を捉え、積極的なシティセールス活動を展開し、町田市の知名度アップや観光客の誘客拡大を図っていきます。</p>						
【事業の内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・ J リーグや F リーグの試合会場、友好都市・近隣都市のお祭り・イベント会場などにシティセールス隊を派遣し、観光パンフレットやチラシの配布、市内イベントの PR、町田市名産品の販売など PR 活動を行います(30 回程度派遣予定)。 ・ 地元テレビや地方新聞などの地方メディアに対する積極的な情報発信を行います。 						
						
(シティセールス隊イメージ)						
[シティセールス隊]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市観光コンベンション協会の専任スタッフにボランティアスタッフ(10 名程度)を加え「(仮称)町田市シティセールス隊」を編成します。会場では PR ブースを設営し、FC 町田ゼルビア、ペスカドーラ町田の選手やマスコットキャラクターとともに PR 活動に取り組みます。 						
[主な派遣場所]						
<ul style="list-style-type: none"> ➢ FC 町田ゼルビア試合会場(松本市、甲府市、横浜市、千葉市、水戸市、宇都宮市、前橋市など) ➢ ペスカドーラ町田試合会場(府中市、小田原市、浦安市、船橋市など) ➢ 友好・交流都市(大島町、川西町、富士川町、燕市など) ➢ 近隣都市イベント(八王子市、相模原市 など) 						
【主な事業費】						
○ 観光 PR 委託料 19,742 千円						
【主な特定財源】						
○ 緊急雇用創出事業費臨時特例補助 19,742 千円						
問い合わせ先	経済観光部 産業観光課長 新田			電話	724-2944	

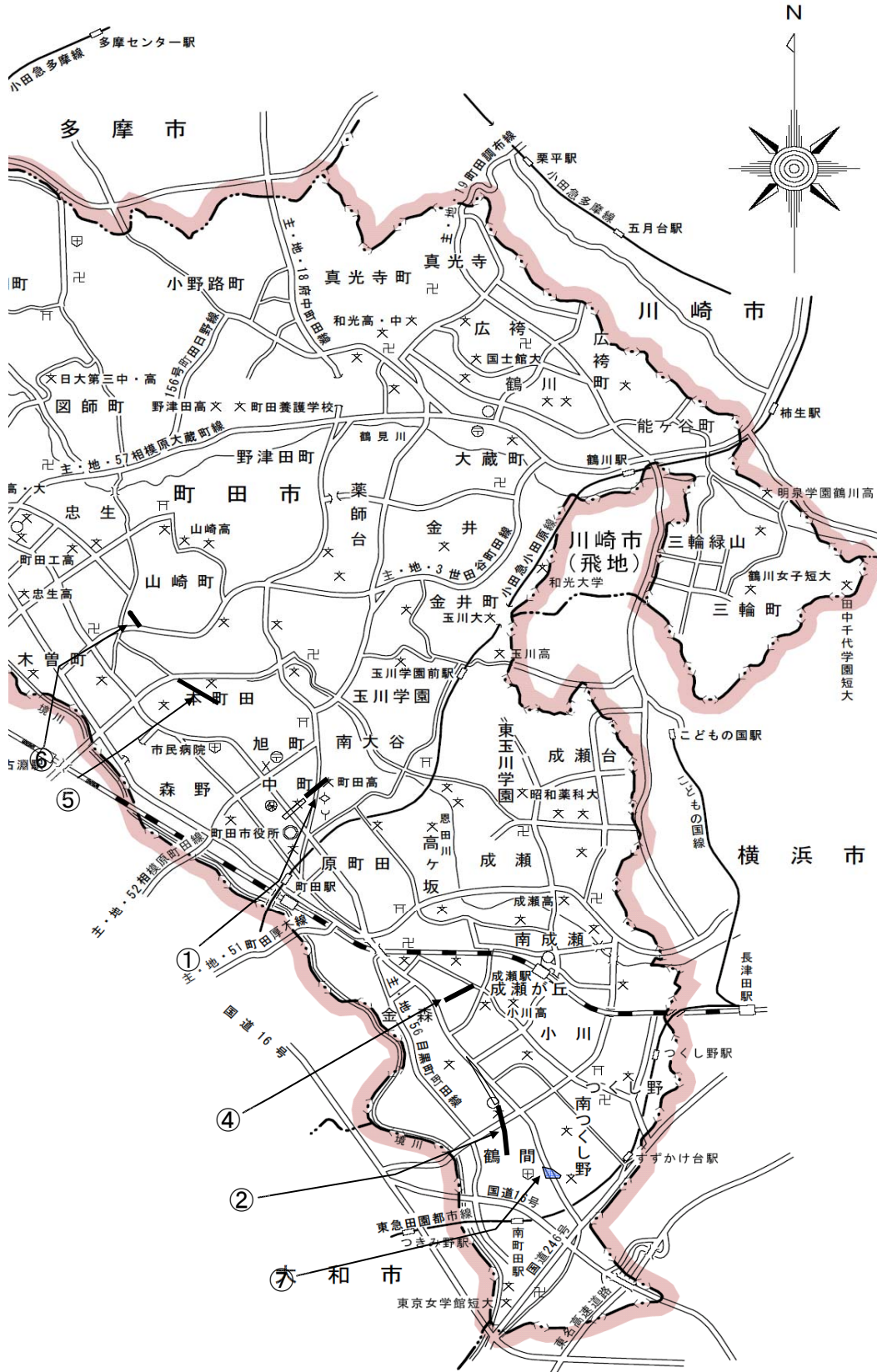
件名	都市計画道路整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,971,750		311,300	588,420	168,000	697,385	206,645



重点事業名	箇所番号	個別事業名	事業費(千円)	備考
都市計画道路の整備	①	都計道3・4・33(中町) 【放射5号森野大蔵線】	81,800	町田街道から町田駅前通りへのアクセス道路一部歩道開通済み2012年度供用開始予定
	②	都計道3・4・37(鶴間)	699,200	国道16号、南町田駅へのアクセス道路2016年度供用開始予定
	③	都計道3・4・49(相原町) 【相原南北線】	55,002	相模原市へのアクセス道路2015年度供用開始予定
	④	都計道3・4・34(金森) 【環状1号本町田金森線】	305,781	町田街道から藤沢街道へのアクセス道路2017年度供用開始予定
都道整備の協力	⑤	交差点改良事業 【町田街道】	152,235	滝ノ沢西交差点付近都との協働事業(用地買収)
	⑥	都計道3・4・38(木曾東) 【町田街道】	547,650	都との協働事業2016年度供用開始予定
駅前広場の整備	⑦	南町田駅北口広場	22,716	2014年度供用開始予定
	⑧	相原駅西口広場	107,366	2015年度供用開始予定

【主な特定財源】

- ・社会資本整備総合交付金(国) 311,300 千円
- ・東京都市町村土木補助 396,420 千円
- ・みちづくり・まちづくりパートナー事業受託収入 545,150 千円
- ・すいすいプラン推進事業受託収入 152,235 千円



問い合わせ先	建設部 道路整備課長 藤谷	電話	724-1122
--------	---------------	----	----------

件名	都市計画道路線形検討事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
13,000		0	0	0	0	13,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 438 ページ

〔目的〕

誰もが移動しやすいまちの実現のため、これからの町田市に必要な多摩地域を結ぶ南北道路や近隣市と接続道路を検証し、優先的に整備する路線を決定していきます。

〔背景〕

- 多摩都市モノレールの導入路線で、都市計画道路として都市計画決定されていない区間があります。
- 北部の丘陵域内で、区画整理が中止となったことなどから、新たな道路網の検討が必要です。
- 多摩境通りなど慢性的に渋滞している路線があります。
- 都県境において、隣接する市の都市計画道路の計画と不整合となっている路線があります。
- 圏央道の開通等にとまなう、広域的な道路網の検討が必要です。
- 近隣市において都市計画道路の見直しを行っており、町田市でも見直しの要望が強まっています。

【事業の内容】

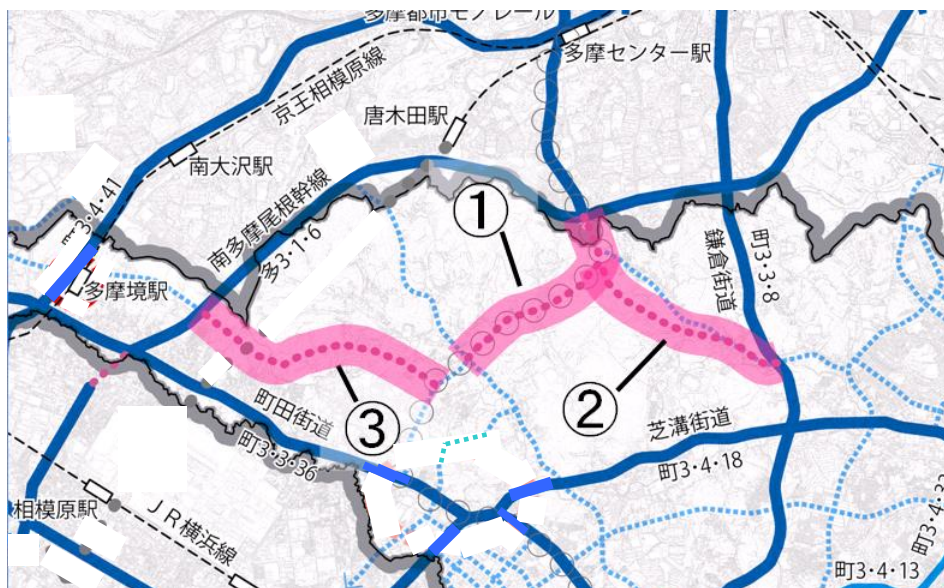
都市計画道路網における課題を抽出したうえで、取り組むべき地域や路線を抽出し、都市計画道路の都市計画変更、新規路線及び廃止路線の決定を行うための指針とする整備計画を策定するものです。

○新規都市計画道路検討路線

〔①多摩都市モノレール導入路線、②大蔵小野路線線形変更、③「多摩境通り」の東側への延伸など〕

○事業スケジュール

年度	内容
2011年度	町田市道路整備方針策定
2012年度	町田市道路整備計画策定
2013年度	都市計画道路変更に向け調査設計着手



【主な事業費】

都市計画道路等ネットワーク基本計画策定業務委託料 13,000 千円

問い合わせ先	都市づくり部 都市計画課長 楠	電話	709-0564
--------	-----------------	----	----------

件名	地域コミュニティバス運行事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
96,218		0	1,000	21,000	285	73,933

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 442 ページ

公共交通不便地区に地域コミュニティバスを運行することで、地域住民のモビリティの向上を図るとともに、高齢者や障がい者等が利用可能な公共交通サービスを拡大し、外出行動や社会参加を推進していきます。また、コミュニティバスの利用を促進することで、自動車の利用を抑制し、渋滞の解消や環境負荷の軽減を図ります。

【事業の内容】

2012 年度新規路線(玉川学園地区南ルート)の運行開始に伴う、道路・バス停車場等の走行環境を整備していきます。

〈事業計画〉

- ・調査設計委託:擁壁、舗装等の道路改修工事設計(整備期間)2012年5月～7月
- ・走行環境等整備工事:擁壁、舗装等道路改修工事、バス停留所設置工事(整備期間)2012年9月～2013年1月
- ・バス購入:運運用車両小型ノンステップバス2台購入

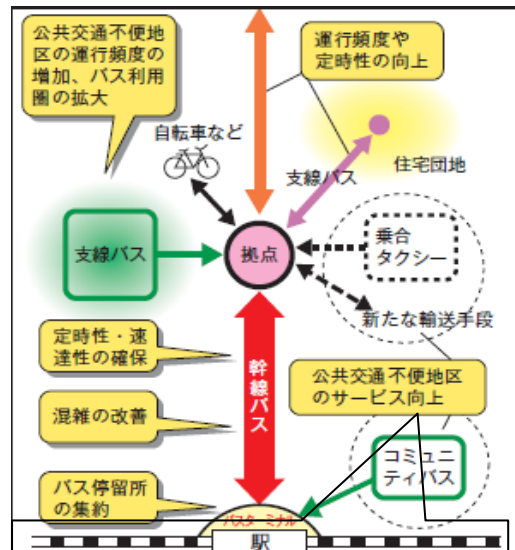
【主な事業費】

・コミュニティバス導入調査設計委託	3,600 千円
・コミュニティバス走行環境等整備工事費	36,000 千円
・コミュニティバス購入費	42,200 千円
・地域コミュニティバス運行事業補助金	14,000 千円

【主な特定財源】

- ・都支出金:地域コミュニティバス運行事業補助金 1,000 千円

これからの公共交通網のイメージ



玉ちゃんバス



問い合わせ先	都市づくり部 都市計画課 交通計画担当課長 野田	電話	709-0614
--------	--------------------------	----	----------

件名	北部丘陵整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
138,203			0	20,000	0	0

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 366 ページ

町田市北部丘陵活性化計画に基づき、「人と人が育む、美しく、いきいきとした町田ならではの里山」の実現に向けて、地域の価値・魅力を活かしたまちづくりを進めます。

2012 年度は、地域の農業環境や生活環境の向上、フットパスやイベント参加など地域の自然環境を楽しむに訪れる市民や、自然環境の再生・向上に取り組む団体等の利便に供する駐車場やトイレ整備などの事業を実施します。

さらに、東京都の緊急雇用創出事業を利用して、樹林地の除草刈や樹木の間伐、不耕作農地の耕運、水路や散策路の整備などを実施し里山環境の向上に取り組めます。

【事業の内容および事業費】

農道整備事業 41,600 千円

地域の農業環境向上を図るため、農道を整備します。

① 拡幅整備事業 36,600 千円（東京都小規模土地改良事業の補助事業として実施）

■ 事業期間・・・2009～2012 年度（2013 年 3 月完了予定）

■ 整備規模・・・延長 150m 幅員 4.0m ■ 受益農地面積・・・2.3ha

■ 事業箇所・・・小野路町地内 ■ 2012 年度事業・・・舗装、排水設備

② 現道整備事業 5,000 千円

■ 整備規模・・・延長 170m 幅員 1.8m ■ 受益農地面積・・・1.2ha

■ 事業箇所・・・下小山田町地内

拠点整備事業 34,040 千円

地域を訪れやすくするとともに、自然環境の再生・向上を目指す市民との協働事業をよりすすめるため、活動の拠点を整備します。

① 駐車場整備事業 20,000 千円

■ 整備規模・・・1,500 m²（750 m² × 2 箇所） ■ 事業箇所・・・小野路町及び下小山田町地内

② トイレ整備事業 14,040 千円

■ 整備内容・・・バイオトイレを 2 箇所に設置 ■ 事業箇所・・・小野路町及び下小山田町地内

道路整備事業 23,400 千円

地域生活環境の向上を目指して、地域の主たる生活道路である忠生 579 号線の拡幅改良整備を行います。

■ 事業期間・・・2011～2018 年度 ■ 事業箇所・・・上小山田町地内

■ 整備規模・・・計画延長 1,400m 計画幅員 13.0m

■ 2012 年度事業

① 道路予備設計 4,200 千円 ② 路線・用地測量 19,200 千円

【主な特定財源】

- 土地改良事業費補助 10,000 千円
- 緊急雇用創出事業費臨時特例補助 10,000 千円

忠生 579 号線 位置図



問い合わせ先	経済観光部 北部丘陵整備課長 西村	電話	724-2758
--------	-------------------	----	----------

件名	公園整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
709,038		191,000	161,000	247,000	25,774	84,264

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 450 ページ

「町田市緑の基本計画」に基づき、一人当たり 20.3 m²の都市公園の確保を目指し、多くの人々が憩える公園や緑地を確保し整備を進めています。

【事業の内容】

- 薬師池西公園、三輪緑地、能ヶ谷緑地、薬師池北緑地の用地 2.0haを購入します。
- 薬師池公園周辺地区基本計画では、薬師池公園周辺にある施設間の移動手段的確保や、施設が一体となったプロモーション活動など、施設の相互連携を検討し、さらに、施設それぞれの魅力を高めるために、テーマ性を持たせた整備などの各施設の特徴をより強化する取り組みを行い、地域資源の最大活用により、地域の持つ魅力をさらに高めることへの実現に向けた基本計画の作成を行います。
- 薬師池西公園・薬師池北緑地については、基本計画に基づき、薬師池公園と一体のものとして 2016 年度に一部開園を予定しています。

	都市計画決定	事業認可	計画面積	買収予定 総面積	2012 年度 買収予定面積	用地買収 計画年度
薬師池西公園	2009 年 1 月	2009 年 2 月	8.6ha	8.1ha	0.6ha	2008 年度～ 2012 年度
薬師池北緑地	2011 年度中	2011 年度中	6.9ha	6.9ha	0.3ha	2011 年度～ 2015 年度
三輪緑地	2008 年 6 月	2010 年 9 月	21.1ha	16.5ha	0.6ha	2010 年度～ 2015 年度
能ヶ谷緑地	2010 年 9 月	2010 年 11 月	2.3ha	2.3ha	0.5ha	2010 年度～ 2014 年度

【主な事業費】

- 用地購入費 645,124 千円
- 薬師池公園及び薬師池周辺地区基本計画策定業務 12,000 千円
- 忠生公園木橋撤去及び迂回路整備工事 20,000 千円
- 高ヶ坂広場防球ネット設置工事 5,000 千円

【主な特定財源】

- 都市計画公園整備費(国) 191,000 千円
- 都市計画公園整備費(都) 161,000 千円
- 都市計画事業債 247,000 千円
- 緑地保全基金繰入金 25,774 千円



薬師池公園

問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 望月	電話	793-7648
--------	------------------	----	----------

件名	自然エネルギー活用事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
51,409		0	0	0	1,507	49,902

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 383 ページ

この事業は、住宅に太陽熱、太陽光などの自然エネルギー利用機器を設置した市民に費用の一部を助成し、機器の普及促進とエネルギー利用の効率化、地球温暖化防止対策への寄与などを目的に行います。

2011年3月に発生した東日本大震災以降、自然エネルギーを利用した機器や省エネルギー機器が注目されています。そこで現行の「太陽光発電システム設置助成制度」を見直して、助成対象住宅の拡大、対象機器の追加などを行い、市民の要望に応じていきます。

【事業の内容】

○事業実施時期：2012年4月から実施します。

○事業内容：①「太陽光発電システム助成制度」の対象住宅の範囲・助成単価・上限額を見直します。助成件数は420件、電力消費削減量1,591,800kwh/年、CO2排出削減量597t-CO2/年が見込まれます。

	助成対象となる住宅	助成単価	上限額
現行	戸建住宅(自己所有)	太陽電池の出力1kwあたり30千円	200千円
改正	戸建住宅(自己所有・賃貸) 共同住宅(分譲・賃貸)、建売住宅	太陽電池出力1kwあたり25千円	150千円

②太陽熱ソーラーシステムなどの「太陽熱利用機器」を助成対象に加え、対象機器を拡大します。新たな対象機器の種類、助成額、主な助成の条件等は表のとおりです。

機器名	助成額	助成条件等
太陽熱ソーラーシステム	定額 50 千円	BL部品認定※をうけた強制循環式ソーラーシステムであること
太陽熱温水器	定額 20 千円	BL 部品認定※を受けた自然循環式太陽熱温水器であること
CO2 冷媒ヒートポンプ給湯機	定額 30 千円	東京都家庭用高効率給湯器認定要綱による認定基準をみたすもの
潜熱回収型給湯器	定額 20 千円	同上。但し旧来型の付替えに限る
家庭用蓄電池	蓄電池の容量1kwあたり25千円。但し100千円が購入費用の10%の低い額。	太陽光発電や夜間電力を利用して蓄電する容量1kw以上、定格出力500w以上のもの。

※BL部品認定：財団法人ベターリビングが優れた住宅部品を認定する、優良住宅部品認定制度の略称。

【主な事業費】

太陽エネルギー利用機器等補助金 50,000 千円

①太陽光発電システム設置補助金分 40,000 千円

②太陽熱利用機器等設置補助金分 10,000 千円(補助対象機器の拡大分)

【主な特定財源】 みどり・東京温暖化防止プロジェクト市町村助成金 1,500 千円

問い合わせ先	環境資源部 環境総務課長 内山	電話	797-7112
--------	-----------------	----	----------

件名	循環型施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
46,116		0	0	0	0	46,116

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 389 ページ

循環型社会を形成するため 2011 年 4 月に策定された一般廃棄物資源化基本計画を受けて、老朽化した清掃工場、リサイクル文化センターを含むごみ処理施設及びプラスチックごみ処理施設等の整備基本計画について、2011 年度に引き続き検討を行い策定します。

また、一般廃棄物資源化基本計画、資源循環型施設整備基本計画の内容を踏まえ、国の循環型社会形成推進交付金の申請に必要な循環型社会形成推進地域計画を策定します。

【事業の内容】

○ 資源循環型施設整備基本計画策定

検討期間：2011 年 4 月～2013 年 3 月

検討対象：資源循環型施設の種別、規模等の整備に関する基本的な計画、建設候補地の選定

検討組織：資源循環型施設整備基本計画検討委員会（市民、学識経験者及び事業者で構成）

開催回数：年 13 回開催予定（全 26 回）

○ 循環型社会形成推進地域計画策定

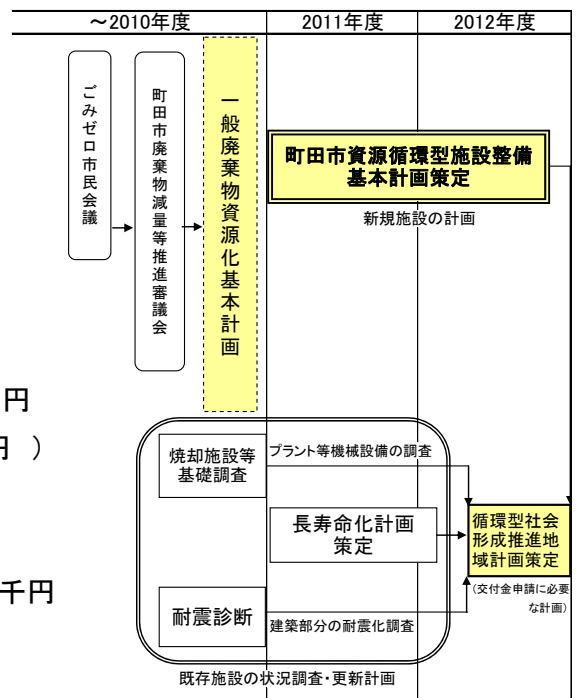
検討期間：2012 年 4 月～2013 年 3 月

検討対象：焼却処理施設・資源化施設等の建設計画、ごみ減量施策等循環型社会形成のための施策全般

○ 町田リサイクル文化センター耐震補強設計

実施期間：2012 年 4 月～2013 年 3 月

実施対象：町田リサイクル文化センター（工場棟及び事務棟）



【主な事業費】

○ 資源循環型施設整備基本計画策定

委員謝礼 5,033 千円

資源循環型施設整備基本計画策定支援委託料 16,150 千円

（ 2011 年度～2012 年度 債務負担行為 総額 28,900 千円 ）

○ 循環型社会形成推進地域計画策定

循環型社会形成推進地域計画策定支援業務委託料 2,550 千円

○ 町田リサイクル文化センター耐震補強設計

町田リサイクル文化センター耐震補強設計委託料 21,123 千円

問い合わせ先	環境資源部 環境総務課長 内山	電話	797-7112
--------	-----------------	----	----------

件名		鶴見川クリーンセンター水処理施設増設事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
370,000		203,500	8,325	132,600	0	25,575

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 471 ページ

町田市の下水処理水が流れ込む東京湾では、富栄養化による赤潮が慢性的に発生しており、放流先である鶴見川並びに東京湾の水質向上を図るため、これまでの処理方法（標準活性汚泥法）では除去することが難しい「窒素」及び「りん」の削減を、東京湾を放流先とする関係自治体とともに進めることが求められています。

また、鶴見川クリーンセンターでは、相原町など鶴見川処理区の污水管整備の進展に伴う流入汚水量の増加に対応するため、水処理施設の増設が必要となっております。

【事業の内容】

鶴見川クリーンセンターに増設する水処理施設には「高度処理※」を導入します。

増設工事は、2012 年度より土木工事に着手し、2013 年度および 2014 年度にて建築・機械・電気設備工事を行い、2015 年 4 月の稼働を目指します。

※「高度処理」・・・これまでの処理方式である「標準活性汚泥法」にくらべて、富栄養化の原因である「窒素」と「りん」の除去に優れた処理方法

増設処理能力 12,700 m³/日
 (6,350 m³/日・池×2 池)
 増設後の処理能力 58,200 m³/日
 増設建築面積 4,500 m²



【主な事業費】

下水処理場整備委託料 【鶴見川クリーンセンター】

2012 年度 水処理施設増設工事 370,000 千円
 (2012 年度～2015 年度 全体事業費 2,850,000 千円)

【主な特定財源】

下水道事業債 132,600 千円
 社会資本整備総合交付金(国) 203,500 千円
 下水道費補助(都) 8,325 千円



問い合わせ先	上下水道部 水再生課長 河原	電話	720-1825
--------	----------------	----	----------

件名	乳幼児健診会場の拡充					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
5,042		0	0	0	0	5,042

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 275 ページ

市では、市民が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを目指し、乳幼児の健康増進と疾病の早期発見、保護者への育児支援をさらに充実するため、現在、健康福祉会館と健康福祉会館鶴川分館で実施している乳幼児集団健康診査の会場を各地域に段階的に拡充していきます。

【事業の内容】

○2012 年度は、小山市民センター(堺地区)で以下の内容の集団健診を実施します。

健診項目	開始時期	実施回数・実施時間	健診内容
3～4ヶ月児健診(乳児)	2012年4月	毎月1回実施(年12回)	身長・体重測定/ 医師の診察 個別相談(育児、栄養、歯について)
1歳6ヶ月児健診	2008年度から実施済	隔月実施(年6回)	歯科健康診査 個別相談(育児、栄養、発達について)
3歳児健診	2012年10月	年4回実施	身長・体重測定/ 医師の診察 歯科健康診査 個別相談(育児、栄養、発達について)

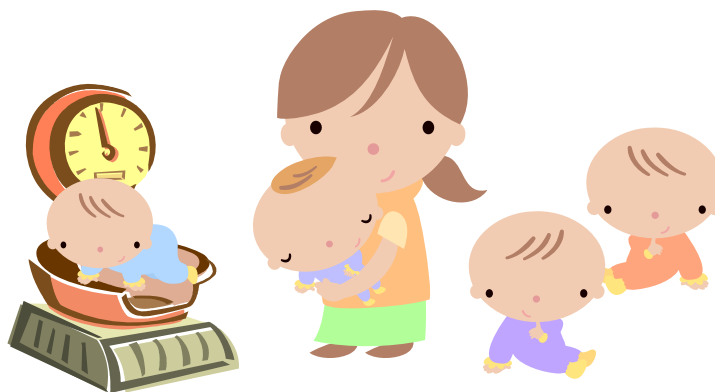
<参考> 2013年度以降の実施予定地区 南地区・忠生地区

○健康福祉会館において、妊婦、乳幼児連れの保護者、障がい者の方の利便性を図るため、健康福祉会館駐車場を拡充します。

駐車場拡充台数 約20台

【主な事業費】

母子一般健康診査事業費（委託料及び賃金） 5,042千円



問い合わせ先	いきいき健康部 健康課長 原島	電話	724-5075
--------	-----------------	----	----------

件名	介護保険料の改定（介護保険事業会計）					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
—		—	—	—	—	—

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 — ページ

介護保険料は3年ごとに各市町村保険者が策定する事業計画において、当該事業運営期間における被保険者数や介護給付費等の介護保険事業に要する費用の見込量を算定し、それらを勘案して保険料の基準額を設定し、各被保険者の所得に応じ決定します。

2012年度から、「第5期事業計画（計画期間：2012年度から2014年度）」がはじまり、新たな介護保険料により運営することとなります。

【事業の内容】

○「第5期事業計画」の介護給付費見込量は、以下の①～③を基に算定しました。

- ①「第4期事業計画（2009年度から2011年度）」における要介護（又は要支援）者数の増加などに伴う、給付費の伸び（毎年度約6%）を基に、「第5期事業計画」の給付見込みを推計
- ②「特別養護老人ホーム」や「認知症対応型グループホーム」をはじめとする今後の施設整備に伴う給付費の増加を推計
- ③国による2012年4月からの介護報酬見直し（約1.2%）及び地域区分の変更に伴う給付費の増加を推計

総事業費は、「第5期事業計画」の期間全体では約765億円となり、「第4期事業計画」期間の約614億円に対し、約25%の増加を見込んでいます。

○介護保険料は、国による政令改正や被保険者の方から寄せられた保険料に対するご意見を基に、以下の①～③を行うことにより、算定しました。

- ①所得段階の料率を負担能力に応じて見直すとともに、低所得者への配慮として、特例第3段階を創設

第4期と第5期の介護保険料所得段階

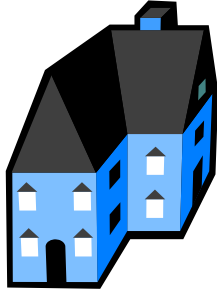
課税状況 世帯 本人	所得区分	第4期		第5期			
		所得段階	保険料率	所得段階	保険料率		
非課税	生活保護受給者	第1段階	0.45	第1段階	0.45		
	老齢福祉年金受給者	第2段階	0.50	第2段階	0.50		
	合計課税所得年金収入額と合計	80万円以下	第3段階	0.70	特例第3段階	0.625	
		80万円超			第3段階	0.75	
		120万円以下	特例第4段階	0.70	特例第4段階	0.80	
		120万円超					
	80万円以下	第4段階	1.00	第4段階	1.00		
	課税	合計所得金額	125万円未満	第5段階	1.05	第5段階	1.10
			125万円以上	第6段階	1.15	第6段階	1.25
			190万円未満	第7段階	1.25	第7段階	1.40
190万円以上			第8段階	1.50	第8段階	1.60	
300万円未満			第9段階	2.00	第9段階	2.00	
300万円以上							
500万円未満							
500万円以上							

※第4期での第6段階・第7段階の所得区分は200万円を区分していません。

- ②市の介護保険給付費準備基金の活用（3年間で約9億円）
- ③都の財政安定化基金一部取崩しによる交付金の活用（2012年度 約2億円）

この結果、介護保険料の一人当たり月額基準額は、4,920円（予定）となります。

問い合わせ先	いきいき健康部 介護保険課長 持田	電話	721-0912
--------	-------------------	----	----------

件名		民設障がい者福祉施設整備補助事業														
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源										
20,225			0	10,000	0	0	10,225									
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 226 ページ												
<p>町田市では、障害者自立支援法に基づき「町田市障がい福祉事業計画（第2期計画）」を2009年4月に策定し、障がい者の自立支援の推進に向けた障害福祉サービスの見込量と目標を設定しています。しかし現状では、生活介護施設は、900人の目標に対し、735人の定員。また、グループホーム・ケアホームは350人に対し229人の定員と、低い達成率となっています。</p> <p>このため、障がい者の地域における日中活動と居住の場を確保するため、障がい者福祉施設の整備補助を行います。</p>																
【事業の内容・事業費】																
<p>■仮称「とも」（生活介護施設）施設整備費補助</p> <p>生活介護施設「町田かたつむりの家（とも）」の新築移設工事に対して、整備費の補助を行います。</p> <p>◆市補助額 20,550千円（2012年度 5,085千円／2013年度 15,465千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運営主体</th> <th>建設予定地</th> <th>定員</th> <th>延床面積</th> <th>竣工予定月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>（社福）白峰福祉会</td> <td>町田市根岸町 538-1</td> <td>30人</td> <td>829.35 m²</td> <td>2013.9 予定</td> </tr> </tbody> </table>							運営主体	建設予定地	定員	延床面積	竣工予定月	（社福）白峰福祉会	町田市根岸町 538-1	30人	829.35 m ²	2013.9 予定
運営主体	建設予定地	定員	延床面積	竣工予定月												
（社福）白峰福祉会	町田市根岸町 538-1	30人	829.35 m ²	2013.9 予定												
<p>■グループホーム・ケアホーム施設整備費補助</p> <p>市内で施設新設を予定しており、2012年度に開所するグループホーム及びケアホーム（全4ユニット分）の整備費補助を行います。これにより、約22人の定員数が増加します。</p> <p>◆市補助額 15,140千円（工事費 12,000千円、設備整備費 500千円、初度調弁費 2,640千円）</p>																
【特定財源】																
市町村総合交付金（都） 10,000千円																
																
問い合わせ先	地域福祉部 障がい福祉課長 吉田			電話	724-2136											